


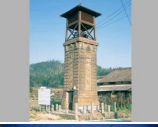






国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	旧マルヤマ商店事務所	にほんはきものはくぶつかん こーひーはうす(きゅうまるやま しょうてんじむしょ)	1棟	福山市松永町	平8.12.20	木造2階建、疑似石造、寄棟棧瓦葺。	建築面積90㎡	この建物は、マルヤマ商店の本店として建築されたもので、大正11年(1922)に竣工した事務所建築である。設計が長谷川建築事務所、施工が横山晋吉と伝えられている。装飾のあるパラペット、頭部に飾りがある二階を通した柱型、玄関ポーチ等に本格的な洋風の意匠が見られる。大正期に地域の技術者によって建てられた本格的洋風建築の好例である。		関連施設: 松永はきもの資料館 (084-934-6644)
国	登録有形文化財(建造物)	阿多田島灯台資料館 (旧安芸白石挂燈立標施設)吏員退息所	あたたじまとうだいしりょうかん (きゅうあきしらしいけいとらいつ びょうしせつ)いんたいそくしょ	1棟	大竹市阿多田島田ノ浦	平8.12.20	煉瓦造、平屋建、洋瓦葺、寄棟造、明治 36年(1903)建設	建築面積91㎡	煉瓦造で外壁にモルタルを塗った航路標識施設の附属屋で、アーチ形の入口や窓の錠戸等に洋風の意匠を取り入れている。わが国の近代の海上交通の発展に貢献した阿多田島の役割を理解する上で欠くことのできない施設である。		
国	登録有形文化財(建造物)	阿多田島灯台資料館 (旧安芸白石挂燈立標施設)物置	あたたじまとうだいしりょうかん (きゅうあきしらしいけいとらいつ びょうしせつ)ものおき	1棟	大竹市阿多田島田ノ浦	平8.12.20	煉瓦造、平屋建、洋瓦葺、寄棟造、明治 36年(1903)建設	建築面積42㎡	煉瓦造で外壁にモルタルを塗った航路標識施設の附属屋で、物置や浴室として使用された。隣接する旧吏員退息所とともにわが国の近代の海上交通の発展に貢献した阿多田島の役割を理解する上で欠くことのできない施設である。		
国	登録有形文化財(建造物)	阿多田島灯台資料館 (旧安芸白石挂燈立標施設)油庫	あたたじまとうだいしりょうかん (きゅうあきしらしいけいとらいつ びょうしせつ)ゆこ	1棟	大竹市阿多田島田ノ浦	平8.12.20	煉瓦造、平屋建、洋瓦葺、寄棟造、明治 36年(1903)建設	建築面積12㎡	洋風の意匠をもつ煉瓦造の倉庫で、燈火用の油庫として使用された。島では数少ない煉瓦を外観に現した建物であり、わが国の航路標識施設の整備が大きく進展した時代に建設された煉瓦造の附属施設の様子を知ることができる好例である。		
国	登録有形文化財(建造物)	厳島神社宝物館	いつくしまじんじやほうもつかん	1棟	廿日市市宮島町	平8.12.20	鉄筋コンクリート造、平屋建、入母屋造、妻 入り、銅板葺、昭和9年(1934)建設	建築面積570㎡	鉄筋コンクリート造で大江山太郎の設計で清水組の施工と伝えられる。近代的な平面を持ちながら伝統的な木造建築の形態や意匠を持つ建物を近代的な材料で造っている点に特徴がある。当時の大江山太郎の作風をよく示した建物のひとつである。		関連施設: 厳島神社宝物館 (0829-44-2020)
国	登録有形文化財(建造物)	呉市入船山記念館休憩所 (旧東郷家住宅離れ)	くれしいりふねやまきねんかん きゅうけいしよ(きゅうとうこうけ じゅうたくはなれ)	1棟	呉市幸町	平9.5.7	木造、平屋建、棧瓦葺、明治初期の建築	建築面積37㎡	元は呉市宮原通りの正円寺前にあった邸宅の離れであり、一時期東郷平八郎が居を定めていた。その後移築され、民家として使用されたが、昭和55年(1980)に市に寄附され、現在地に移築された。8畳と6畳の二間に廊下が付く構成で、海軍ゆかりの施設として広く知られている。		関連施設: 呉市入船山記念館 (0823-21-1037)
国	登録有形文化財(建造物)	三次市歴史民俗資料館(旧三次銀行)	みよししれきしみんぞくしりょう かん(きゅうみよしぎんこう)	1棟	三次市三次町	平9.5.7	鉄筋コンクリート造、2階建、陸屋根、昭和2 年(1927)建築	建築面積190㎡	当初銀行の社屋として建てられ、現在は三次市歴史民俗資料館として利用されている。入口正面のカウンター奥に窓口事務室が広がり、二階部分をバルコニーの付いた吹き抜けとしている。簡素ではあるが柱頭飾りなどのアクセントのある外観で親しまれている。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館	ふくやましらくじゅかいかん	1棟	福山市丸之内一丁目	平9.7.15	木造2階建、瓦葺、昭和10年(1935)～昭 和12年(1937)頃建設	建築面積138㎡	昭和10～12年(1935～1937)頃、個人の別荘として建てられた木造、二階建ての洋館である。屋根を急勾配とし外壁をモルタル塗りした、立ちの高い外観に、昭和初期の洋風の住宅建築の特徴がよく現れている。庭に面した側の妻にある中央部の浮き彫り装飾や窓上部のアーチ形装飾は美しい。		
国	登録有形文化財(建造物)	吉原家住宅表長屋門	よしはらけじゅうたくおもてなが やもん	1棟	尾道市向島町	平9.7.15	木造平屋建、瓦葺、明治18年(1885)建設	建築面積114㎡	広大な屋敷構えを持つ農家の長屋門形式の表門である。明治時代の建築であるが、文政8年(1825)の家相図により、その時にあった門の規模・形式を継承したものと推定される。向島では類別が少ない長大な規模を持つ表門で、普請関係の記録も残る。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	いろは丸展示館	いろはまるてんじかん	1棟	福山市鞆町鞆	平9.9.3	木造2階建、本瓦葺、江戸時代末期の建設	建築面積211㎡	文化年間(1804～1817)建築の土蔵である。鞆の船着場の正面に妻を見せて建つ2階建ての土蔵である。妻の中央と両脇をなまこ壁とし、腰に下見板を張り、窓の上に小庇を付ける等、正面の意匠はよく整っている。港に面したむきわ自立土蔵で、往時繁栄した鞆の様子を知ることができる建物である。現在では、幕末に紀州帆船と衝突、沈没した「いろは丸」に係る展示館として使用されており、2階部分には鞆町の坂本龍馬宿泊の家が発見された隠れ部屋が再現されている。		
国	登録有形文化財(建造物)	時報塔	じほうとう	1基	東広島市志和町志和堀字二ノ平	平9.9.3	鉄筋コンクリート造、大正11年(1922)建設		高さ7.8mの塔状の鐘楼で、上部にアメリカ製の鐘が懸けられている。大正11年(1922)、旧志和堀村在郷軍人会が定時勸行を目的に建設した。上部を木造とする他はコンクリート造で、壁面に凹凸をつくり石造風につくる。鐘の上部にはサイレンが取り付け(昭和17年[1942]頃の改造)。現在でも時を告げる塔として機能し、広く親しまれている。		
国	登録有形文化財(建造物)	観瀾閣	かんらんかく	1棟	呉市下蒲刈町三之瀬字北町	平9.11.5	木造2階建、瓦葺、昭和10年(1935)建設	建築面積289㎡	満州土木建築業協会理事長を勤めた榑谷仙次郎が建てた別荘である。木造2階建て、外壁をタイル張りとする。下蒲刈島の海岸に沿った立地と中国の磚造建築の意匠を取り入れた特異な外観に特徴があり、内部の建具や欄間に用いられた技能の水準も高い。		
国	登録有形文化財(建造物)	松籟亭	しょうらいてい	1棟	呉市下蒲刈町下島字池之浦	平9.11.5	木造平屋建、瓦葺、昭和11年(1936)建設	建築面積81㎡	満鉄に関連する車両会社の社長が大阪の景勝地枚方の山治いに建設した「万里荘」(昭和9年(1934)竣工)の離れ座敷として建てた。関西を中心に数多くの数寄屋建築を手がけた平田雅哉の初期の作品で、栗のナグリ仕上げの広縁や時味された材料を用いた三畳台目の茶席に見るべきものがある。平成4年(1992)に現在地に移築された。		
国	登録有形文化財(建造物)	田中写真館	たなかやしんかん	1棟	三次市吉舎町吉舎	平9.12.12	木造地上3階地下1階建、昭和3年(1928)建設	建築面積98㎡	本造モルタル三階建ての写真館である。むくり屋根を柱頭飾付きの円柱で受ける玄関部、ベデメント(妻・破風)に設けたカイル龍を型取ったユニークな2連の窓などを用いた特異な造形になる。設計施工は地元の名匠吉川惣一であったことが棟札からうかがえる。竣工時から話題となり、今も広く親しまれている建物である。		
国	登録有形文化財(建造物)	南山資料館		1棟	三原市幸崎町能地	平10.4.21	木造2階建、瓦葺、昭和初期建設	建築面積65㎡	木造二階建ての診療所建築である。一階が診療施設、二階は接客空間とされていた。現在では一階部分を郷土出身の金工作家清水南山の資料館となっている。上部にアーチ窓を設ける正面中央の玄関が意匠上のアクセントで、洋風の建物として親しまれている。		
国	登録有形文化財(建造物)	広島大学附属中・高等学校講堂(旧制広島高等学校講堂)	ひろしまだいがくちゅうこう・こうとうがっこうこうどう(きゅうせいひろしまこうとうがっこうこうどう)	1棟	広島市南区翠一丁目	平10.9.2	鉄筋コンクリート造2階建、昭和2年(1927)建設	建築面積607㎡	旧制広島高等学校の講堂として昭和2年(1927)に建築された。鉄筋コンクリート造平家建てで、一部に2階吹き抜けが設けられ、正面に車寄が付く。外壁は石造風に仕上げ、1・2階連しの柱型付きとし軒先に装飾タイルを貼る。全体として様式建築を簡素にまとめた意匠構成となるが、仕事は丁寧で技術的に見るべき点は多い。 旧制広島高等学校は大正12年(1923)設置、専門的な高等普通教育が行われたが、昭和24年(1949)新制広島大学に統合された。		
国	登録有形文化財(建造物)	三永の石門	みながのせきもん	1基	東広島市西条町上三永字上泓	平10.9.2	石造アーチ橋、明治15年(1882)頃建設		旧国道2号線の開削工事に伴い分断される既設の農業用水路を確保するため、架けられた石造アーチ型の水路架歩道橋で、明治15年(1882)頃竣工したと伝えられる。切石で組み上げたアーチ部の周囲を薄い板石で巻く独特の工法である。昭和53年(1978)に近隣に移築保存された。		
国	登録有形文化財(建造物)	呉市水道局宮原浄水場低区配水池	くれしすいどうきよくみやはらしょうすいじょうていはいすいぢ	1基	呉市青山町	平10.10.9	煉瓦造、明治23年(1890)建設		呉港を一望に見渡せる休山西麓の高台に国立呉病院(旧海軍病院)がありその背後の丘に当時の呉鎮守府建築委員会が建造した宮原浄水場(標高約52m)がある。 呉鎮守府の軍用水道は、横浜、函館に続きわが国で3番目にできた水道施設で、宮原浄水場はその一つとして作られた。配水池の容量は、8,000立方メートルで、煉瓦造の上層を設ける。簡素ながらもわが国初期の水道施設の様子を知る上で貴重な存在である。		

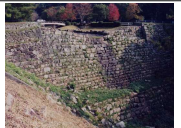
国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	呉市水道局平原浄水場低区配水池	くれしすいどうきよくひらばらじょうすいじょうていはいすいち	1構	呉市平原町	平10.10.9	煉瓦造、大正6年(1917)建設		平原浄水場は呉市の中心市街を展望できる灰ヶ峰の南麓、平原町の高台(標高86m)にある。市民用の水道施設としてつられた浄水場で、配水池は地下式で場内南側に位置する。煉瓦及びコンクリート造で、通路を中心に2つの池を配置した形式になる。南北にある煙突状の煉瓦造換気塔の意匠は独特である。		
国	登録有形文化財(建造物)	呉市水道局二河水源地取入口	くれしすいどうきよくこうすいげんちりいれくち	1基	呉市荘山田村宇東二河平	平10.10.9	石造、明治22年(1889)建設		二河水源地は呉の名勝二河峽にあり、付近一帯は戦後に二河峽公園となっている。呉鎮守府の軍用水道施設の一つである。宮原浄水場に導水するために二河峽にある水源地につられた石造の坑門で、上部に呉鎮守府水道と刻まれた標石を置く。アーチ形の開口部両側に柱型を現した丁寧なつくりで、わが国初期の水道施設の一つとして貴重である。		
国	登録有形文化財(建造物)	呉市水道局三永水源地堰堤	くれしすいどうきよくみながすいげんちえんてい	1基	東広島市西条町下三永	平11.7.8	コンクリート造堰堤、昭和18年(1943)建設		三永水源地は、東広島市西条町南東部の下三永地区にあり、黒瀬川の支流・下三永川に築造された貯水池である。急増する水需要を賄うため、西条町の三永川に建設された重力式コンクリート造の水道用ダムである。堤長145m、堤高14mと巨大で、主堤部中央は緩やかに湾曲する。貯水量は264万トンで、貯水池周辺は公園化し藤の名所として知られる。		
国	登録有形文化財(建造物)	白滝山荘(旧ファーム住宅)	しらたきさんそう(きゅうふぁーなむじゅうたく)	1棟	尾道市因島重井町伊浜	平11.10.14	木造一部鉄筋コンクリート造3階建、瓦葺、昭和6年(1931)頃建設	建築面積105㎡	白滝山荘は、因島市の北部にある雲山白滝山(標高226.9m、市指定史跡・名勝)の登山口に位置するアメリカ人宣教師の屋敷で、斜面に建ち、1階を鉄筋コンクリート造、2・3階を木造とする。急傾斜屋根にドローマー窓を付けたハーフティンバースタイルの洋館で、ウォーリス建築事務所の手による一棟をよび伝えている。		
国	登録有形文化財(建造物)	奥野家住宅主屋	いくのけじゅうたくしゅおく	1棟	三原市久井町和草	平11.10.14	木造平屋建、鉄板葺、明治16年(1883)建設	建築面積151㎡	もと茅葺の農家建築であるが、施主が和華村の戸長を務めていた関係で、正面に台式玄関と、その左手に半間幅の濃れ縁をもつと戸長役場としての性格を合わせ持つ。明治時代前期における地方行政機構の様子を知るうえで貴重な遺構である。		
国	登録有形文化財(建造物)	中の峠隧道	なかのたおずいどう	1基	東広島市西条町郷曾宇栢原中の峠	平12.5.17	鉄筋コンクリート造アーチ坑口、昭和5年(1930)頃		大正15年(1926)の濁水を契機に、小田山と深道池間に建設された延長約1.5kmの農業用水路の一部である。全長327m、当初建設された区間長約0.7mの鉄筋コンクリート造欠円アーチからなる南坑口に、落盤防止のため昭和18年(1943)長さ約38mのRC造箱型坑道を延長する。地元の沖田通市が設計・施工し、工事の終わり頃には多くの村人が協力して完成させた。		
国	登録有形文化財(建造物)	延藤家住宅洋館	のぶとうけじゅうたくようかん	1棟	府中市出口町	平12.10.18	木造二階建、昭和6年(1931)	建築面積48㎡	和館部の玄関脇に建つ応接用の施設である。1階を擬石造り、2階をハーフティンバーとし、南面にベイウインドウを設け、西面では1階に出窓を造りその上を2階バルコニーとする。小規模ながら華やかな外観をもち、内部の階段廻りなどにも斬新な意匠が見られる。		
国	登録有形文化財(建造物)	延藤家住宅和館(洞仙荘)	のぶとうけじゅうたくわかん(どうせんそう)	1棟	府中市出口町	平12.10.18	木造二階建、昭和6年(1931)	建築面積360㎡	南面する傾斜地に建てられた別荘施設で、和館部は2階建の主体部と渡り廊下で続く離れからなる。玄関部分と廊下の土室(しゅく)を組み合わせ、記念館として開館し、近世の雄大な唐破風玄関(からはる(けんかん))と近代の入母屋造(いりもやづくり)の主屋が巧みに融合した構成で、和風の意匠と造形の連続性をよく示している。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山誠之館高等学校記念館	ふくやませいしかんこうとうがっこうきねんかん	1棟	福山市木之庄町六丁目	平13.10.29	木造平屋建 入母屋造 椽瓦葺き(さんかわらぶき)	建築面積73.4㎡	福山誠之館は安政元年(1854年)に創設された福山藩校である。昭和8年(1933)に当初の学舎の玄関部分と廊下の土室(しゅく)を組み合わせ、記念館として開館し、近世の雄大な唐破風玄関(からはる(けんかん))と近代の入母屋造(いりもやづくり)の主屋が巧みに融合した構成で、和風の意匠と造形の連続性をよく示している。		










国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	飛弾家住宅主屋	ひだけじゅうたくおもや	1棟	呉市豊町大長	平15.3.18	木造平屋建、瓦葺、江戸後期	建築面積144㎡	飛弾家は、大長(おおちよう)地区に所在するみかん栽培農家である。屋敷地の北側にあり文化9年(1812)没の平三良が建てたと伝える。東西棟の切妻造、平入で、南・北・西の三方に下屋(げや)を廻し、屋根はすべて本瓦葺とする。軒廻りの漆喰塗込や下屋の葺り梁風の垂し掛け梁など、丁寧な作りである。		
国	登録有形文化財(建造物)	飛弾家住宅離れ	ひだけじゅうたくはなれ	1棟	呉市豊町大長	平15.3.18	木造2階建、瓦葺、大正13年	建築面積148㎡	主屋の西南に東を向いて建つ。 1、2階とも周囲を広縁(ひろえん)で取り囲み、それぞれに書院付きの床の間をしつらえる。 玄関は柱を殆ど丸石製礎盤(そばん)で受け、軒に丸垂木を用いるなど、要所に数寄屋風の豪華な意匠が凝らされている。		
国	登録有形文化財(建造物)	飛弾家住宅蔵門	ひだけじゅうたくくらもん	1棟	呉市豊町大長	平15.3.18	木造2階建、瓦葺、大正末期	建築面積121㎡	屋敷地東辺を面す長屋門風の建物で、北側は主屋に接する。 1階中央部を門口とし、建物内は壁面に3段前後の欄が設けられ、みかんが保存されていた。 道路に面した裏面は真壁造だが、1階は腰を彫り下見板張(ささらこしたみいたばり)とするなど、大正期の意匠のあり方を示している。		
国	登録有形文化財(建造物)	飛弾家住宅蔵	ひだけじゅうたくくら	1棟	呉市豊町大長	平15.3.18	土蔵造平屋建、瓦葺、大正末期	建築面積70㎡	主屋と中庭を挟んだ南側にある。 2階建の高さを持つが、内部は床・天井のない倉庫空間としている。みかん保存用の棚があり、現在も同じ方式でみかんが保存されている。当初よりみかんの保存用に建てられたことが知られ、みかん栽培の地域色を示している。		
国	登録有形文化財(建造物)	飛弾家住宅観音堂	ひだけじゅうたくかんのんどう	1棟	呉市豊町大長	平15.3.18	木造平屋建、瓦葺、明治初期ノ大正末期移築	建築面積12㎡	蔵門南側に並んで建つ小規模な仏堂である。 正面に庇柱を立て、屋根は本瓦葺。宝形造(ほうぎょうづくり)とし、正面に庇を突き降ろす。もとは別の墓地にあったものを、大正末期に現位置に移設したものである。 床下を墓所とするなど、当地域の信仰形態が窺える事例である。		
国	登録有形文化財(建造物)	小野公民館 (旧小野尋常小学校校舎)	おのこうみんかん(きゅうおのじんじょうしょうがっこうしゃ)	1棟	神石郡神石高原町小野	平15.7.1	木造平屋建、瓦葺、寄棟造	建築面積761㎡	昭和4年(1929)建築の木造校舎。平屋建で、東西に長い長方形平面を持つ。北側に2.1m幅の廊下を通し、南側に教室を配する。中央に玄関を開くとともに、西端に児童昇降所を設ける。戦前の木造校舎は県内でも数少なく、昭和時代初期の学校建築の有様を伝える建築である。		
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺山門	こうさんじさんもん	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	鉄造、間口4.5m		耕三寺境内の北端にあって、伽藍中心軸上に位置する。柱4本を立て、中央に両開、両端に片開の扉を吊り、両軸は瓦葺とする。柱、扉ともに鉄製で、白色を基調に随所に丹色を配し、扉にはさまざまな絵柄の装飾を施す。街路に面して境内のランドマークとなる建造物である。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺中門	こうさんじちゅうもん	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造、瓦葺、間口3.6m		四間二戸の二重門で、入母屋造、本瓦葺。法隆寺の西院伽藍の中門を原型とするが、梁間は二間とし、各部比例も異なる。組物等の装飾はおむね原型を踏襲しているが、飾金具、彩色などを多用し、壮麗な外観としている。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺羅漢堂	こうさんじらかんどう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19			中門の両側に続く回廊状の建築で、内部に羅漢像を安置する。左右とも桁行17間、梁間1間の規模で、本瓦葺、切妻造とする。外壁面を連子窓、内側を枝扉。小窓は虹梁、杖首組に化粧屋根裏とする。中心伽藍のなかでは最も初期の建築である。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)










国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺鐘樓	こうさんじしやうろう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19			羅漢堂東側背面に建ち、鼓楼と同じ規模形式を持つ。桁行3間、梁間2間、入母屋造、本瓦葺で、白漆喰の榜腰を備える。新薬師寺鐘樓を模したもので、上部に高欄を持たない縁を張り出す。上層内部は中央部を吹き抜けとし、両側に床を張る。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺鼓楼	こうさんじこうろう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積32㎡	羅漢堂西側背面に建ち、鐘樓と対をなす。鐘樓と同規模同形式で、細部装飾に至るまでほぼ完全に同一である。1階は4半敷の土間とし、上層に高欄を設けない縁を出し、二手先の組物に二軒繁垂木、入母屋造、本瓦葺とする。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺仏宝殿	こうさんじぶつぼうどう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積83㎡	一連の伽藍からはやや東寄りに建つ。桁行5間、梁間2間、平入、入母屋造、本瓦葺の宝殿。内部は板敷きで一室とする。耕三寺の建築の中では比較的簡素で、新薬師寺本堂を模したとされるが、規模、各柱間に長押、連子窓を設ける外観など大きく異なる点が多い。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺法宝殿	こうさんじほうぼうどう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積180㎡	伽藍中央に建つ宝物館で、僧宝殿と対をなす。桁行4間、梁間3間の身舎四間に裳階を廻らす。屋根は入母屋造、本瓦の葺きとする。四天王寺金堂を模したといわれるが、法宝殿は妻入であり、屋根勾配、各部比例なども大きく異なる。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺僧宝殿	こうさんじそうぼうどう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積180㎡	伽藍中段東側に建ち、同型同規模の法宝殿と五重塔をはさんで対をなす。四天王寺金堂を参照しつつ大きく外観を変え、身舎は円柱に二手先、裳階は角柱に平三斗とし、内部は折上格天井の大空間とする。昭和前期における大規模木造寺院建築の好例である。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺至心殿	こうさんじしんてん	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、銅板葺	建築面積114㎡	伽藍最上段西側に建ち、信楽殿と対をなす。法界寺阿弥陀堂を模したと伝えられ、5間四方の身舎に吹き放しの裳階を設け、屋根は宝形造、銅板葺。組物は平三斗で、裳階の正面中央部のみ一段高く屋根を設ける。内部は一室とし、各種用途に活用されている。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺信楽殿	こうさんじしんぎやうてん	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、銅板葺	建築面積104㎡	伽藍最上段の東側に建つ。至心殿とは対をなし、同規模同形式とするが、平面などに若干の違いがある。身舎柱は円柱。裳階柱は角柱で、講堂として用いられる身舎内部は一室とし、天井は折上小組格天井。四周外壁は筋戸を見せるが、内部には壁が設けられている。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺本堂	こうさんじほんどう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積271㎡	中堂、左右翼廊、尾廊からなる堂宇。いずれも本瓦葺とし、軸部、壁面、建具に至るまで極彩色を施し、飾金具を用いる。平等院鳳凰堂を模しているが、軸部においては異なる点も多く、内部外部とも仕麗さを増しており、耕三寺の中核建築として知られている。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺多宝塔	こうさんじたぼうとう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造多宝塔、銅板葺	建築面積25㎡	本堂西方に建つ。石山寺多宝塔を模しており、下層は方3間の周囲に縁を廻らし、上層は円形平面で二手先組物で二軒繁垂木の軒を支え、屋根は上層下層とも銅板葺とする。比較的原作に忠実であり、組物等に彩色を施した外観は壮麗である。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)








国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺八角円堂	こうさんじはつかくえんどう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積71㎡	本堂を挟んで多宝塔と対置される。正八角形平面を持ち、屋根は宝形造、本瓦葺。法隆寺夢殿を模しているが、規模を縮小している。柱は八角柱で、組物は隅部出三斗、中備は平三斗、内部は板敷で、中央は鏡天井、周囲を栴天井とする。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺銀龍閣	こうさんじぎんりゅうかく	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、銅板葺	建築面積40㎡	境内南東方の庭園池泉に張り出して建つ。八畳大の板間の三方に縁を廻らし、東側に床と小室を設ける。屋根は宝形造の銅板葺。板間は鏡天井として縁の縁を描き、軸部はすべて銀色とする。板間の障子に花頭窓を設ける点も特徴的で、特異な意匠の建築である。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺潮聲閣	こうさんじちうせいかく	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造及び鉄筋コンクリート造平屋一部2階建、瓦葺、車寄付	建築面積389㎡	境内東北隅に建つ住宅建築。ポーラを持つRC2階建の洋館と、唐破風の玄関を持つ木造平屋建の和館からなり、洋館、和館玄関、老人室など各所に意匠を凝らす。洋館と和館を並立させる昭和初期の大規模住宅建築の特徴をよく伝える。		関連施設: 耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	久山田貯水池堰堤	ひさやまだちよすいちえんてい	1基	尾道市久山田町	平16.11.29	粗石モルタル積表面張石造 堤長750m 堤高22m 有効貯水量754,000?		大正14年尾道市水道開設に伴い建造。市南西部を流れる門田川に建設された。中央に越流部を設けた堤長75m、堤高22mの石張コンクリート造堰堤で、堤体右岸寄りに半円状の取水塔を張り出す。平面形状は副堰堤との同心の円弧とし、重力式とアーチ式を複合した構造形式が特徴。		
国	登録有形文化財(建造物)	長江浄水場着水井	ながえじょうすいじょうちやくすいせい	1井	尾道市長江	平16.11.29	鉄筋コンクリート造 長方形 面積5.0㎡ 内法長さ4.2m 幅1.2m 深さ2.4m		大正14年尾道市水道開設に伴い建造。横ヶ峠の頂を約12m掘り下げて築かれた尾道市創設水道の浄水池施設の一つ。水源地より自然落下により導水された原水を受ける施設で、鉄筋コンクリート造隔壁で内部を区切り、天端には花崗岩を配す。		
国	登録有形文化財(建造物)	長江浄水場緩速ろ過池	ながえじょうすいじょうかんそくろかち	4池	尾道市長江	平16.11.29	鉄筋コンクリート造 扇形454㎡ 深さ2.4m		大正14年尾道市水道開設に伴い建造。着水井から導かれた水をろ過処理するための施設。外半径4.8m、内半径2.4m、中心角120°で、内部を隔壁により4等分とした扇形平面の鉄筋コンクリート造構造物で天端には花崗岩を配す。狭小地を巧みに利用した類例の少ない平面形状が特徴。		
国	登録有形文化財(建造物)	長江浄水場配水池	ながえじょうすいじょうはいすいち	1池	尾道市長江	平16.11.29	鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造り上層計置室 内径27.0m 深さ3.0m		大正14年尾道市水道開設に伴い建造。ろ過池と同心の半径14mの円形鉄筋コンクリート構造物で内部は中央隔壁で2分される。池中心部の円井で減菌水が注入されたろ過水。円形2象の導流壁に沿って蛇行させることで攪拌作用を高める。円井上方にはアルデコ風の平面12角形の上層を設ける。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧福井家住宅主屋	きゅうふくいけしゅうたく(おのみちしぶんがくきねんしつ)しゅおく	1棟	尾道市東土堂町	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積210㎡	尾道水道に臨む斜面に南面して建ち、寄棟造の東棟が大正元年、入母屋造の西棟が昭和2年築で、ほぼ中央の玄関を挟んで巧みに連続する。木造平屋建、棧瓦葺で、檜を中心に楓や鉄刀木(たがやさん)などの銘木を多用した上質な造りになり、瀟洒な数寄屋風の意匠でまとめられている。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧福井家住宅茶室	きゅうふくいけしゅうたく(おのみちしぶんがくきねんしつ)ちやしつ	1棟	尾道市東土堂町	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積28㎡	昭和3年築。主屋西棟の北西部に連結しており、尾道の近代における茶室趣味の有様の一端を物語る。規模は小さいが、木造平屋建、棧瓦葺で、4畳半茶室に廊下を挟んで控えの間が付属した形式になっている。主屋と同じく良材を持ち、洗練された丁寧な造りである。		








国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	旧福井家住宅蔵	きゅうふくいけしゅうたく(おのみちしふんがくぎねんしつ)くら	1棟	尾道市東土堂町	平16.11.29	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積25㎡	土蔵造2階建。南北棟の切妻造。妻入で、蔵前が主屋西棟の北側に連続している。規模は桁行6m、梁間4m、屋根は棧瓦葺。外壁は漆喰塗で、1・2階境に乾度風の段をつけて水切り瓦を葺す。2階妻面には小庇付の窓を設ける。主屋と一連の丁寧な造りになる。建築時期は主屋東棟とほぼ同時期の大正元年ごろと考えられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	竹村家主屋	たけむらやしゅおく	1棟	尾道市久保	平16.11.29	木造2階建、瓦葺	建築面積481㎡	大正9年築。木造2階建。棧瓦葺で、北が道路、南が海に面している。全体は南北棟の北側と東西棟の南側が直交したT字型の形態で、竹材の細工や造作を多用した繊細な書院造である。北正面は棟連いの八棟造風に揃うなど、外観は重厚かつ豪放で、地域景観の様になっている。		
国	登録有形文化財(建造物)	竹村家門及び塀	たけむらやもんおびへい	1棟	尾道市久保	平16.11.29	木造、瓦葺、間口2.4m、塀延長20.0m		大正9年築。門は北辺西寄りに設けられた切妻造。銅板葺の棟門で、簡素な袖塀がつく。これに続く塀は、真壁造、棧瓦葺で、腰から上を黒漆喰壁とし、簾を入れた棟長の小窓を開け、重厚さと繊細さを併せ持つ。敷地の北辺と西辺を区画しつつ、街路景観を整えている。		
国	登録有形文化財(建造物)	恋しき主屋	こいしきしゅおく	1棟	府中市府中町字横町	平16.11.29	木造平屋一部3階建、瓦葺	建築面積347㎡	通り沿いの2階建。切妻造。平入の建物が明治初期、背面に延びる3階建の客室が明治38年、大正元年の増築になる。正面中央の望楼風3階も増築。格子や手摺などの細部には伝統的な意匠を残すが、変化に富んだ外観を構成し、街路景観上際立った存在になっている。		
国	登録有形文化財(建造物)	恋しき離れ(桔梗の間)	こいしきはなれ(ききょうのま)	1棟	府中市府中町字永井	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積26㎡	敷地奥の中庭に北面して建つ。木造平屋建。東西棟の寄棟造。棧瓦葺で、銅板葺の庇を葺す。6畳の座敷と3畳の控室がある。真壁造で、壁は黒漆喰仕上げ。丸窓三日月窓など多彩な開口部を配し、格子を皮付き材とするなど、野趣にも富んだ繊細な数寄屋風の建物。建築時期は大正初期と考えられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	恋しき離れ(菊の間)	こいしきはなれ(きくのみま)	1棟	府中市府中町字永井	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積62㎡	敷地奥の中庭に北面して建つ。木造平屋建。真壁造。東西棟の寄棟造。棧瓦葺で、6畳の座敷と3畳の控室があり、廊下を延ばして手洗所を付属する。銘木を用いた床の間、木舞打の軒、柳風とした小壁の地下窓など、洗練された数寄屋風で、造りも丁寧である。建築時期は大正初期と考えられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	恋しき離れ(桐・さつきの間)	こいしきはなれ(きり・さつきのま)	1棟	府中市府中町字永井	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積107㎡	主屋後方、中庭に面して建つ。真壁造。平屋建てで、L字型棟とした入母屋造。棧瓦葺である。桐の間は6畳と8畳の2室構成。さつきの間は6畳1室で、東にある内玄関と廊下で連絡する。書院造で外壁黒漆喰塗で下屋庇を葺すなど、堂々とした外観構成をもつ。建築時期は大正後期と考えられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	恋しき(竹・萩の間)	こいしきはなれ(たけ・はぎのみま)	1棟	府中市府中町字永井	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積62㎡	敷地奥の中庭に西面して建つ。木造平屋建。真壁造。L字型棟とした切妻造。棧瓦葺で、4畳半茶室、6畳座敷、3畳控室などを巧みな平面構成で処理している。華奢な丸太柱、緩やかな配の屋根や庇、竹や桐製の造作、繊細な窓など、数寄屋風の軽快で風雅な造りになる。建築時期は昭和23年頃と考えられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	宮島町立宮島歴史民俗資料館(旧江上家住宅)主屋	はつかいちしみやじまきしみんぞく(しりょうかん)(きゅうえがみけしゅうたく)しゅおく	1棟	廿日市市宮島町	平16.11.29	木造2階建、瓦葺	建築面積201.27㎡	厳島神社西廻廊の西方にあり、通りに南面して建つ。桁行13.5mの木造2階建。切妻造。棧瓦葺。平入で、平面は通り土間式。西側に平屋建の茶室部を付属する。深い軒や庇を支持する持送り板。いわゆる千本格子の建具など、宮島における商家建築の好事例。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	宮島町立宮島歴史民俗資料館(旧江上家住宅)蔵	はつかいちしみやしまれきしみんぞくしりょうかん(きゅうえがみけじゅうたく)くら	1棟	廿日市市宮島町	平16.11.29	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積13.65㎡	主屋東妻面に建つ。土蔵造2階建、桁行梁間とも2間半の方形で、1・2階とも主屋と続き、横を主屋と同じ東西棟の切妻造。棧瓦葺とする。外壁は漆喰塗。1階壁を縦板で覆い、1・2階間に水切瓦を据す。主屋との連続性を重視し、商家の表構えを構成している。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川一番砂留	どうどうがわいちばんすなどめ	1基	福山市神辺町湯野字トウトウ谷	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・明治時代増築		芦田川水系堂々川に江戸時代に建設された砂留の中で、最下流に位置する。当初築かれた堰堤の東袖部に当たる。大型の花崗岩を用いて空石積(からいしづみ)、布積(ぬのづみ)で築いた石積壁体の上部に、割石を段状に積み上げる。近世に遡る石積堰堤の遺構として貴重。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川二番砂留	どうどうがわにばんすなどめ	1基	福山市神辺町湯野字追山	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・大正時代前期改築		一番砂留の約180m上流に位置する。西袖部は、壁体を乱積(らんづみ)、隅部を算木積(さんぎづみ)とし、その東側は谷積(たにづみ)壁体で水叩(みずたたく)の機能を持つむりつきの石積壁体を覆付けている。異なる石積構法に、石積技術の時代的特色を示す。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川三番砂留	どうどうがわさんばんすなどめ	1基	福山市神辺町湯野字追山	平18.8.24	重力式石造堰堤、天保3年(1832)頃築造・明治時代増築		二番砂留の約60m上流に位置する。大型の花崗岩をほぼ6分の勾配で階段状に積み、その上部を布積(ぬのづみ)の石垣で嵩上げる。緩やかなアーチ平面で地山に取り付き、外力の一部を端部まで伝える構造とする。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川四番砂留	どうどうがわよんばんすなどめ	1基	福山市神辺町湯野字追山	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・大正時代前期改築		三番砂留の約130m上流に位置する。西袖部下部の乱積(らんづみ)部分を除き、大正時代以降に築かれる。間知石(かんちい)谷積(たにづみ)の水通しの前面にもくりつきの石積壁体を付け、左右の袖部を前方に張り出すなど、強固なつくりとする。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川五番砂留	どうどうがわごばんすなどめ	1基	福山市神辺町西中条字トウトウ谷	平18.8.24	重力式石造堰堤、天保6年(1835)頃築造・明治時代増築		四番砂留の約180m上流に位置する。大型の花崗岩をほぼ6分の勾配で階段状に積み、その上部を布積(ぬのづみ)と谷積(たにづみ)の石垣で嵩上げる。三番砂留と同様に緩やかなアーチ平面を描き、緩いなわだるみをつけた石積形式とする。堰堤の遺構として貴重。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川六番砂留	どうどうがわろくばんすなどめ	1基	福山市神辺町西中条字トウトウ谷	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・明治時代増築		芦田川水系堂々川に建設された江戸時代の砂留の中で最大のものである。五番砂留の約m上流に位置する。ほぼ1割の勾配で大型のを階段状に積み、その上部を等によりける。藩政時代に築かれた堂々川筋の砂留の内最大規模で、地域のランドマークとして親しまれている。		
国	登録有形文化財(建造物)	薫ヶ迫砂留	とびがさこすなどめ	1基	福山市神辺町西中条字トウトウ谷	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・大正時代増築		五番砂留の上流で、堂々川本川に合流する支流に位置する。大型の花崗岩をほぼ7分の勾配で階段状に積み、平面は緩やかなアーチを描く。急勾配の渓流の上流部に築かれた大規模な砂留で、河岸の安定に寄与する。		
国	登録有形文化財(建造物)	内広砂留	うちひろすなどめ	1基	福山市神辺町西中条字トウトウ谷	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・明治時代増築		六番砂留の上流で、堂々川本川の支流に位置する。両袖部は壁体を空石積(からいしづみ)、乱積(らんづみ)、隅部を算木積(さんぎづみ)とし、水通しに対して前方に張り出す。上部は、谷積(たにづみ)により段状に築く。近世に遡る石積堰堤として貴重。		




国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	深山発電所本館(旧梯梨川発電所本館)	みやまへんでんしょほんかん (きゅうむくなしがわはつてん しょほんかん)	1棟	東広島市河内町	平19.5.15	石造平屋建、スレート葺	建築面積200㎡	大正7年(1918)に梯梨川発電所本館として竣工した石造平屋建の建造物で、現在は改修されて深山発電所本館となっている。 小屋組はキングポストトラスで、壁面を露出仕上げの花崗岩布積で築き、四周に配した半円アーチ形開口部の間に控壁をつける。 山間部の近代化を象徴する重厚なつくりの洋風建築で、広島県における電力発展の歴史を示している。		
国	登録有形文化財(建造物)	明眼寺本堂	みょうげんじほんどう	1棟	東広島市福富町	平19.12.5	木造平屋建、瓦葺、建築面積299㎡		昭和13年(1938)に建築された木造平屋入母屋造、椼瓦葺の浄土真宗本堂。桁行7間、梁間9間半で、右手奥に8畳2室の座敷を張り出す。正面は吹放ちの広縁とし、正・側面には縦宝珠高欄付の切目縁を廻らし、1間向拝をつける。外陣内は、梁間4間の長大な虹梁を二支架け渡す雄大な構造を見せており、組物は肘木を斜めに出し、尾垂木を加えるなど、独特の意匠がみられる。 工匠は、百田町(現在の安芸高田市)の西谷庄一で、昭和7年には宮島大聖院観音堂の造営にもあたっている。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅主屋	のぶおかけじゅうたくおもや	1棟	福山市新市町	平20.4.18	木造平屋建、瓦葺、建築面積346㎡		信岡家住宅の中心的建造物で、屋敷地の北寄りに南向きに建つ。段差切妻造、椼瓦葺で、「つし2階」(天井の低い2階)を設けている。外壁は漆喰で塗り込み、妻壁には水切瓦をつけて重厚に仕上げている。 桁行は29mに及び、東方を土間、西方を床土間、さらにその西側に、西本願寺下賜の仏壇を納める座敷が接続している。 当家の備忘録である『提出記録(とりだしきろく)』によれば、文政8年(1825)に茅葺であった旧主屋を火災で失い、その翌年に再建に取りかかったことが知られる。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅東の蔵	のぶおかけじゅうたくひがしのくら	1棟	福山市新市町	平20.4.18	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積66㎡、東門付		主屋の南東方に位置し、西向きに建つ。桁行13m、梁間5.1m、切妻造、本瓦葺の2階建土蔵で、もとは米蔵であったと伝えられる。 建物内部は、南北に分割されており、西面に土間庇を付け、南東端には東門と呼ばれる通用門が接続している。外部は黒漆喰で、腰壁や水切りの小庇の上部等に海鼠壁をまわって、重厚な造りしている。 『提出記録(とりだしきろく)』によれば、文政8年(1825)に東の蔵が焼失し、翌文政9年(1826)に主屋とともに再建したことがわかる。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅西の蔵	のぶおかけじゅうたくにしきのくら	1棟	福山市新市町	平20.4.18	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積66㎡		主屋の西方に位置する。桁行(東西)13m、梁間(南北)5.1m、切妻造、本瓦葺の2階建土蔵で、道具蔵として利用されている。内部は東西の2室に分割され、東から南面に椼瓦葺の庇をまわし、東面と南面に戸口を設ける。腰壁や西上部等に意匠の異なる海鼠壁を配して変化をもたせている。 『提出記録(とりだしきろく)』には、文化5年(1808)に「西之土蔵」を建て替えたという記事が見え、現存建物の中では最古のものとみられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅炭小屋	のぶおかけじゅうたくすみこや	1棟	福山市新市町	平20.4.18	木造平屋建、瓦葺、建築面積27㎡、堀付		主屋の東方、東の蔵の北方に、南向きに建つ。桁行6.9m、梁間3.9m、切妻造、椼瓦葺の平屋建で、外側の南面に材木を置いたための棚を設ける。なお、南側には椼瓦葺の土塀が接続している。 『提出記録(とりだしきろく)』によれば、現在の炭小屋の前身建物とみられる「東脇木納屋」が嘉永4年(1851)に焼失したので、すぐ再建したと見える。その後、昭和初期頃に改修されているが、江戸時代の炭小屋としての形態は引き継がれており、当時の生活の様子をうかがうことができる。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅茶室及び腰掛	のぶおかけじゅうたくちゃしつおよび こしかけ	1棟	福山市新市町	平20.4.18	茶室 木造平屋建、茅葺(銅板葺葺)、建築面積18㎡ 腰掛 木造、銅板葺、面積3.5㎡		主屋座敷棟の南側に西向きに建ち、西方に腰掛を配する。入母屋造、茅葺(現在は銅板葺葺)で、6畳大の主室と、背後の3畳大の水屋からなり、南西角には南面して開口(にじりぐら)、西面して貫入口(きにんち)を設ける。 昭和初期に連水流家元の設計で建てられたもので、近代茶室の好例である。当初は長屋門の外に位置していたが、昭和30年頃に現在地に移築された。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅井戸屋形	のぶおかけじゅうたくいどやかた	1棟	福山市新市町	平20.4.18	木造、瓦葺、面積5.6㎡		主屋の東南方に位置する。桁行(東西)3.1m、梁間(南北)1.8m、寄棟造、椼瓦葺で、西側の石造井戸と裏側の石敷の洗い場を覆っている。洗い場側の東面の柱は礎石建とし、南北両面には差物。東西には上下を開けた腰壁を入れて、強度を高めている。 この建物は、『提出記録(とりだしきろく)』の慶応4年(1868)の項に見える「表之井戸上屋」に相当するとみられ、同年5月の大雨で破損し、6月に再建されている。当家の近世における生活様態の一端を示しており、建築年代が判明する井戸屋形としても貴重な例である。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅中門及び塀	のぶおかけじゅうたくなかもんおよび ひい	1棟	福山市新市町	平20.4.18	門 木造、瓦葺、間口1.5m 塀 木造、瓦葺、延長10m		茶室の東南方に東向きに建ち、南北に塀を延ばす。間口1.5m、切妻造、椼瓦葺の1間版木門で、前後に投柱を建て、現在では茶室に入るための中門になっているが、江戸時代には福山藩主を迎える「御成門」であったと伝えられる。妻戸や変幅間の意匠、椼の金具等に「御成門」としての格式を感じさせる。 『提出記録(とりだしきろく)』によれば、文化元年(1804)に福山藩主が信岡家に立ち寄っており、その「御成」のための座敷が現在の茶室の場所にあった。同記録には、この座敷が天保4年(1833)に建て替えられたことがわかる記述があり、中門もこの時に再建されたものとみられる。		






国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅長屋門	のふおかけじゅうたくながやもん	1棟	福山市新市町	平20.4.18	木造2階建、瓦葺、建築面積137㎡		主屋の南方、屋敷の正面に建つ。桁行(東西)31m、梁間(南北)4.0m、入母屋造。本瓦葺の2階建で、西寄り門口を開け、北面に土間庇を付ける。東端3間半は大壁造の米蔵で、門口の両脇に使用人の居室を配している。 家伝では明治初期の建築とされるが、形式・構造も時代相応であり、部材経年感も江戸時代後期の主眼と比べて新しく、家伝を裏付けている。旧福山府中街道に南面して建つ長大な建造物で、沿線のランドマークとなっている。		
国	登録有形文化財(建造物)	神龍橋(旧紅葉橋)	しんりゅうはし(きゅうもみじばし)	1基	神石郡神石高原町、庄原市	平21.8.7	鋼製単トラス桁橋、橋長84m、幅員4.6m、高欄付		帝釈峡のダム湖である神龍湖に架かる。 橋長24m、幅員4.6mの鋼製、下路式(かろしき)の道路橋で建設当時、単トラスの道路橋として我が国最大の径間を実現した大型橋梁である。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧簡賀村役場庁舎	きゅうかつがそんやくばちやうしや	1棟	山県郡安芸太田町中簡賀	平22.4.28	木造2階建、瓦葺、建築面積247㎡		県西部の山間に東面して建つ。 正面16m奥行15m、五形造の木造2階建て正面中央に半円アーチ形開口部を持つ玄関ポーチを付ける。外壁モルタル装仕上げ、壁スクラップタイル貼とし、橋形ベデメントには植物文様をあしらう。 山間村落の近代化を示す。 ※ベデメント 西洋建築における切妻屋根の妻側屋根下部と水平面に囲まれた三角形の部分。日本建築の「破風(はふ)」に該当する。		
国	登録有形文化財(建造物)	眼鏡橋	めがねばし	1基	世羅郡世羅町小世良	平22.4.28	石造アーチ橋、橋長6.6m、幅員12m、擁壁付		芦田川水系乙川に架かり、尾道と三次を結ぶ旧幹線道路の橋梁。 橋長6.6m、幅12mの花崗岩を用いた半円の石造単アーチ橋で、左右に石造擁壁を附属する。 坑門は布積で精緻に築く。 県内では数少ない石造アーチ橋の一つで、明治の道路近代化の歴史を物語る。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅主屋	むらかみけじゅうたくおもや	1棟	福山市今津町	平22.9.10	木造2階建、瓦葺、建築面積152㎡		松永溝を南方に臨む丘陵地に占める敷地の西寄りに位置する。入母屋造切妻瓦葺の木造2階建。 北面に深い下屋、東面に入母屋造妻入の玄関を付設。2階は東西に二室並べ、西・南に縁をめぐらし、西室にトコ構えや欄間を飾る。良材を用い、繊細な意匠になる接客産殿。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅衣裳蔵	むらかみけじゅうたくいしやうくら	1棟	福山市今津町	平22.9.10	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積48㎡		主屋の北に位置する。切石積基礎上に建つ土蔵造2階建て、桁行9.8m梁間4.9m、東西棟の切妻造本瓦葺とする。 高く堅板を張り、軒まわりを漆喰仕上げとする。1階は二室に分け、各室に出入口を設け、庇をかける。内壁も漆喰で仕上げると丁寧なつくりになる。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅米蔵	むらかみけじゅうたくこめくら	1棟	福山市今津町	平22.9.10	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積29㎡		衣裳蔵の東方に東西棟で建つ。桁行4.7m梁間4.0mの土蔵造2階建てで、南面から東に下屋を設け、南面の一部を室内に取り込み、東は漬物小屋とする。 切妻造本瓦葺、切石積基礎上に建ち、外壁は漆喰仕上げとする。棧瓦葺の下屋が外観に変化を与える。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅納屋	むらかみけじゅうたくなや	1棟	福山市今津町	平22.9.10	木造平屋建、瓦葺、建築面積31㎡		衣裳蔵と米蔵を繋ぐ南下造。桁行5.0m梁間4.9mの木造平屋建。内部にトコや戸棚を残すなど、寺子屋に使用された名残を留める。 敷地内側を棧瓦葺で真壁とするのに対して、北外側を本瓦葺、大壁造として、米蔵や衣裳蔵と一体で趣のある屋敷構えをつくる。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅井戸屋形	むらかみけじゅうたくいどやかた	1棟	福山市今津町	平22.9.10	木造、瓦葺、建築面積3.8㎡、井戸付		米蔵の東に位置する。桁行2.7m梁間1.4mの切妻造棧瓦葺。切石上に方柱を建て、貫で囲め、頂部に梁と桁を架す。一軒葺露木。 中央に井戸を設け、井戸枠は凸状の花崗岩を組み合わせる。石敷の洗い場を周囲に設ける。近世の生活空間の一端を示す。		









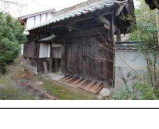
国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅長屋門	むらかみけじゅうたくながやもん	1棟	福山市今津町	平22.9.10	木造平屋建、瓦葺、建築面積72㎡		主屋の東南に東西棟で建つ。入母屋造椼瓦葺で、西面から南面に下屋をまわす。桁行16m梁間3.9mの木造平屋建。 東端を物置。西半部は居室とし、その間に間口3.7mの門口を開ける。門口は東半を壁とする引込み戸をたてる。風格ある屋敷正面をつくる。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅腕木門	むらかみけじゅうたくうでぎもん	1棟	福山市今津町	平22.9.10	木造、瓦葺、間口3.4m、扉付		主屋南面の庭を面する門で、左右に瓦扉を付ける。3.5m間隔で本柱をたて、腕木で軒桁を支持。一軒葺重木。切妻造椼瓦葺。 本柱間を?(ひさし)で囲め、上に井桁の欄間を飾り、下は両脇を土壁とし、中央に引分け戸をたてる。瀟洒な意匠をもち、庭園の景観要素となる。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅石垣	むらかみけじゅうたくいしがき	1基	福山市今津町	平22.9.10	石造、延長77m		敷地の南面から西・北面にかけて築かれる石垣で、高さは南西角で4.2m、北西角で2.3mを測り、総延長76mに及ぶ。 打ち込み斜めの乱積とし、各角は算木積とする。一部に明治期の火災の痕跡を残す。城郭のような威容を誇る敷地構えをつくり上げている。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧大草尋常高等小学校奉安殿	きゅうおおくさじんじょうこうとうしょうがうこうほうあんてん	1棟	三原市大和町大草	平23.1.26	石造平屋建、建築面積2.9㎡、基礎付		小学校庭隅の石積基壇上に建ち、間口一・七メートル奥行一・七メートル、石造である。切石布積の躯体前面にたつどリス式風の円柱で庇を受ける。隅反りのある屋根石上に宝珠状の頂石を載せ、四方に切妻の小屋根を置く。独特な形式になる石造奉安殿。		
国	登録有形文化財(建造物)	佛通寺多宝塔	ぶつどうじたほうとう	1棟	三原市本郷町高山	平23.1.26	木造多宝塔、銅板葺、建築面積18㎡		境内の高台に建ち、間口、奥行とも4.3m、三間多宝塔、銅板葺で、縁高欄をめぐらす。軸部は和様を基調とし、組物は下層出組、上層四手先とする。臺段等の細部に流麗な彫刻を施し、軒まわり部材に反りもたせなど整った塔姿をもつ近代的多宝塔。 昭和2年建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	長江浄水場ベンチルー上屋	ながえじょうすいじょうベンチルーうわや	1棟	尾道市長江三丁目	平23.1.26	鉄筋コンクリート造平屋建、切妻造、建築面積5.9㎡		尾道市街の丘陵上にある浄水場南端に建つ。桁行2.6m、梁間2.6m、鉄筋コンクリート造、切妻造妻入で、正面出入口に切妻屋根の庇を付ける。軒下や妻面に様型風の持送りをつけるなど、木造洋風建築を鉄筋コンクリート造で表現した上屋である。 大正14年建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	三楽荘本館	さんらくそうほんかん	1棟	庄原市東城町	平23.1.26	木造2階建、瓦葺、建築面積282㎡		角地に東を正面にして建ち、桁行18m、梁間17m、木造二階建。入母屋造椼瓦葺で、両妻に小破風を重ねる複雑な屋根をつくる。一階は正面に出格子をたて、二階は出桁造の軒まで黒漆喰で塗り込み、虫籠窓を穿つ。重厚で、風格ある大型町家である。 明治24年建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	三楽荘離れ	さんらくそうはなれ	1棟	庄原市東城町	平23.1.26	木造2階建、瓦葺、建築面積124㎡		主屋の北側に建ち前後に庭を配する。桁行13m、梁間9.9m、木造二階建。入母屋造椼瓦葺で、一階周囲の屋根を下屋とする。東面は二階に木瓜形の格子窓を穿ち、庭園に面する西面は開放的なつくりとする。内部意匠も優雅な接客施設である。 明治42年建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	三楽荘茶屋	さんらくそうちや	1棟	庄原市東城町	平23.1.26	木造平屋建、瓦葺、建築面積10㎡		離れ北西角に廊下を介して建つ。桁行4.1m、梁間2.4m、木造平屋建。西面入母屋造椼瓦葺である。西半を二畳茶室として、茶室北面の西側に地袋、東側に欄を備える。東半は前室及び廊下とする。庭園に面する南・西面を大きく開放した近代茶室。 昭和前期建設。		










国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	三楽荘土蔵	さんらくそうどぞう	1棟	庄原市東城町	平23.1.26	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積34㎡		敷地西寄りに建ち、桁行6.9m、梁間4.9m、土蔵造二階建、切妻造椽瓦葺である。内部は一階を土間、二階を居室とする。外部は漆喰塗で腰を壁張とし、一階上部の水切り瓦と二階両妻の山型の水切り瓦が特徴的で、敷地背面の景観を引き締める。 明治28年建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	三楽荘門及び屏	さんらくそうもんおよびへい	1棟	庄原市東城町	平23.1.26	門 木造、瓦葺、間口1.8m 屏 木造、瓦葺、延長13m		敷地の東辺、離れ前面に建つ門と屏である。門は一間軸木門、切妻造椽瓦葺で、方立をたてて板戸を吊る。屏は、延長13m、両下造椽瓦葺で、腰に幅広の障板を横張りし、上部を土壁とする。いずれも樺の良材が用いられ、格調のある屋敷構えをつくる。 昭和前期建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	普光寺観音堂 (旧大田尋常高等小学校奉安殿)	ふこうじかんのほんだう(きゅうおわた しんじょうこうとうしょうがっこうほう あんてん)	1棟	世羅郡世羅町大田	平23.1.26	石造平屋建、建築面積3.3㎡、基礎付		境内南寄りの山門西側に築いた亀甲石積の基壇上に建ち、間口、奥行とも1.8m、石造である。切石布積の躯体前面にたてたトリス式の円柱で底を支える。屋根は三段構成で、下段は下端を蛇腹状につくり、上段は切妻形で、表面に墓状の紋様を彫る。 昭和10年建設、昭和21年移築。		
国	登録有形文化財(建造物)	桜橋	さくらはし	1基	神石郡神石高原町	平23.1.26	鋼製アーチ橋、橋長70m、橋台付		神龍湖に架かる橋長70m、幅員4.6mの鋼製、中路式の道路橋。 プレーストリップを用いた2ヒンジアーチから吊材によって床桁を吊り、橋の四隅には照明柱付の親柱をたてる。帝釈峡遊覧道路の施設として建設された軽快なデザインの近代橋梁。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧高橋家住宅主屋	きゅうたかはしけしゅうたくおもや	1棟	尾道市日比崎町	平23.7.25	木造2階建、瓦葺、建築面積230㎡		栗原川沿いの敷地中央に東面して建ち、桁行18m梁間13m、木造二階建、入母屋造椽瓦葺で、南東隅に応接間と玄関を張り出す。周囲を開放的に造り、屋根は入母屋破風を複合せ、応接間に洋風意匠を採用すると、変化のある外観になる大型住宅である。		
国	登録有形文化財(建造物)	上下町商工会館 (旧上下警察署庁舎)	じょうげちょうしょうこうかいかん (きゅうじょうげいけいさつしやう しょうしゃ)	1棟	府中市上下町	平23.7.25	木造2階建、鉄板葺、建築面積101㎡		上下町市街の道路沿いに建ち、桁行13m、梁間7.4m、木造二階建、寄棟造鉄板葺である。正面中央に張出した玄関ポーチの上部を塔屋状に立ち上げ、外壁は二連または三連の縦長窓を配置する。鉄筋コンクリート造の外観形式を木造で表現した、もと警察署庁舎。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊本堂	しょうりんぼうほんどう	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造平屋建、瓦葺、建築面積629㎡		境内の中央に東面して建ち、外陣と内陣、余間からなり、正面に広縁を設け、周囲の縁先に庇柱をたて、背面に後堂を設ける大規模な真宗本堂。入母屋造本瓦葺で、正面に向拝を付設。矢来内がなく、また当初は正面縁を側面前方へまわすなど、特徴的な平面となる。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊客殿	しょうりんぼうきゃくてん	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造平屋建、瓦葺、建築面積196㎡		本堂の西南に位置する。入母屋造妻入本瓦葺、正面に唐破風造玄関を付け、周囲に下屋をまわす。内部は対面所と、座敷飾りを備える座敷に二分され、対面所は大トコを構える17畳半で、側面に鞘の間、前方に玄関の間を付ける。近代における真宗対面所の一例。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊御成の間	しょうりんぼうおなりのみま	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造平屋建、瓦葺、建築面積117㎡		客殿の東南に廊下を介して続く。入母屋造椽瓦葺で、周囲に下屋をまわす。東西に三室を並べ、周囲に縁をまわし、南背面に浴室や便所を付設する。東端を主室とし、トコヤトコ廊、付書院を構える。各室に裨縁天井を張り、砂壁として、落ち着いたある設えをなす。		










国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊庫裏	しょうりんぼうくり	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造平屋建、瓦葺、建築面積315㎡		本堂の後方に位置する。切妻造妻入棧瓦葺で、北・東面に下屋を付ける。桁行22m・梁間14mの大規模な庫裏で、正面寄りに土間を設け、東を大戸口、西を勝手口とする。居室部は梁行を三分して東列に畳敷を並べ、南奥に御内仏がある。近世の本格的な庫裏建築。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊渡り廊下	しょうりんぼうわたりろうか	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造平屋建、瓦葺、建築面積60㎡		本堂と庫裏を繋ぐ東西棟の廊下。桁行21m・梁間2.9m、両下造棧瓦葺。高く床を張り、化粧屋根裏天井。側柱筋には高欄を付ける。花窓窓を穿つ梁噴壁で南北に間仕切り、複廊とする。床下も中央筋に壁を設け、仕切る。寄格の高さを揃わせる建築。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊経蔵	しょうりんぼうきょうぞう	1棟	三次市三次町	平23.7.25	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積20㎡		本堂の東北に南面して建つ。方3.8mの土蔵造、宝形造棧瓦葺で、一間向拝を付ける。軒巻上に台輪を置き、出三斗組とし、中欄に基段を飾る。軒は一軒繁垂木。内部は一室の板敷で、格天井を張る。見応えのある組物や垂木、彫刻などが各所に配される。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊鐘撞堂	しょうりんぼうかねつきどう	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造、瓦葺、面積16㎡		本堂の東南に位置する。切石積基壇に建つ桁行一間・梁間一間の吹放ち鐘樓。入母屋造棧瓦葺。礎盤に総付円柱を内転びにたて、貫や台輪で固め、尾垂木付二手先斗きょうを組む。柱間中央にも斗きょうを置き、その間に基段を飾る。二軒繁垂木。近世建立になる良質な鐘樓。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊山門	しょうりんぼうさんもん	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造、銅板葺、間口3.3m		本堂の前方に位置する。間口3.3mの四脚門。切妻造銅板葺で、正・背面に軒唐破風を付ける。組物は支輪付の出組で、正・背面は錯組に配する。二軒繁垂木。妻虹梁大瓶束。格天井を張り、両開板戸をたてる。縁形は複様で、縁柱も縮緬で手が込んでいる。		
国	登録有形文化財(建造物)	呉市入船山記念館旧高島砲台火薬庫	くれいりふねやまきねんかんかきゅうたかがらすほうだいいかやくこ	1棟	呉市幸町	平23.10.28			南北棟の切妻造棧瓦葺。桁行9.7m・梁間4.2m、瘤出し仕上げの花崗岩を積み上げ、西面中央に欠円アーチの出入口を開ける。東・西面に2所、南・北面に1所の矩形窓を設ける。妻床下には欠円アーチを設け、換気に配慮する。重厚な倉庫の一例。		関連施設: 呉市入船山記念館 (0823-21-1037)
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館本館	ふくやましふくじゅかいかんほんかん	1棟	福山市丸の内	平24.2.23			福山城北側の敷地北寄りに建つ。木造平屋建、建築面積385平方メートル。入母屋造棧瓦及び檜皮葺で、正面に唐破風造檜皮葺の玄関を構える。21畳主室と次の縁を廻らし、主室は大振りで上質な座敷飾りを備える。庭園越しの天守眺望を意図した和風住宅。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館西茶室	ふくやましふくじゅかいかんにしちやしつ	1棟	福山市丸の内	平24.2.23			本館西側に渡廊下を介して建ち、木造平屋建、建築面積67平方メートル。寄棟造棧瓦及び檜皮葺である。天守を望む10畳主室の西側に畳台目茶室、北側に2畳中板付茶室を配し、水屋を舟底天井とする。本館との調和ははかられた、瀟洒なつくりの数寄屋建築。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館南茶室	ふくやましふくじゅかいかんなみなみちやしつ	1棟	福山市丸の内	平24.2.23			池を挟んで本館の南側に建つ茶室で、望城亭とも呼ばれる。木造平屋建、建築面積78平方メートル。棧瓦及び檜皮葺で、3畳台目の小間と8畳の広間を庭園側に配し、裏手に水屋などを置く。京都の数寄屋大工面吹葺の一部の手になる、意匠洗練で開放的な近代茶室。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館東蔵	ふくやましふくじゅかいかんひがしぐら	1棟	福山市丸の内	平24.2.23			本館北西側に廊下で接続する内蔵である。桁行9.9メートル梁間6.0メートル、土蔵造2階建、切妻造妻入で、本瓦葺の屋根に起りをたせる。布石積の基礎の上に建ち、外壁は漆喰塗で各階の腰に海鼠壁を廻す。建ちの高い土蔵で、敷地北西の景観を引締める。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館西蔵	ふくやましふくじゅかいかんにしぐら	1棟	福山市丸の内	平24.2.23			本館の北東に位置し、桁行6.9メートル梁間3.9メートル、土蔵造2階建、切妻造本瓦葺である。布石積の基礎の上に建ち、外壁は漆喰塗で各階の腰に海鼠壁を廻す。1回南半は土間で、主屋台所に通じる西側に出入口を開く。邸宅内で日用に供した土蔵の一例。		
国	登録有形文化財(建造物)	金原家住宅主屋	かねはらけじゅうたくおもや	1棟	東広島市	平24.8.13			湖畔の敷地に建つ、木造平屋建、建築面積231平方メートル、入母屋造(いりもやくり)檜瓦(さんがわり)葺で下屋(げや)を廻らし、正面に軒清破風のきかはら(はら)付の入母屋造玄関を構える。15畳主室は座敷銘を備えて吹寄(ふきよせ)折上(おりあげ)格天井(こうてんじょう)を張るほか、随所に社寺建築の細部を取入れる。材工ともに良質な近代和風住宅。		
国	登録有形文化財(建造物)	金原家住宅離れ	かねはらけじゅうたくはなれ	1棟	東広島市	平24.8.13			主屋西側に渡廊下を介して建ち、木造平屋建、建築面積31平方メートル、入母屋造檜瓦葺である。トコ棚付きの6畳主室と次の間を並べ、南側に便所を配する。便所壁に木瓜形の竹格子窓を穿ち、渡廊下には花頭窓を設けるなど、小規模ながら瀟灑なつくりの離れ。		
国	登録有形文化財(建造物)	金原家住宅門	かねはらけじゅうたくもん	1棟	東広島市	平24.8.13			主屋玄関の北正面に建ち、木造平屋建、桁行(けたゆき)8.3メートル梁間(はりま)2.4メートル、切妻(きりづま)造檜瓦葺である。縁通りの中央間を開口3メートルの門口として板扉を吊り、両脇間を横板壁として西側に落戸を開く。両側面は土壁とする。重厚な構えをもつ表門である。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市旧佐波浄水場配水池	ふくやましきゅうさばじょうすいじょうはいすいち	1棟	福山市佐波町	平25.3.29			福山市旧佐波浄水場は、福山市街の上水確保のため大正14年に竣工された浄水場施設である。配水池、浄水井、門から成る。福山市の水道史を物語る建物である。配水池は、浄水場の東端に位置する。コンクリート造及び煉瓦造、南北32メートル東西29メートルで、深さ3.8メートルの池2基を南北に配する。東西面の中央を塔状にして点検用の出入口を開き、東面の上部に記念額を掲げる。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市旧佐波浄水場浄水井上屋	ふくやましきゅうさばじょうすいじょうじょうすいせいりわや	1棟	福山市佐波町	平25.3.29			配水池の西側に位置する浄水井の東側中央に建つ、煉瓦造及び石造、平屋建、東西4.1メートル南北3.0メートル、高さ2.6メートルである。東面の中央に出入口、残る3面の中央に縦長窓を開く。簡素ながらも丁寧なつくりで、浄水場の景観に趣を添える。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市旧佐波浄水場門	ふくやましきゅうさばじょうすいじょうもん	1棟	福山市佐波町	平25.3.29			浄水場の東面北寄りを開く。石造及び煉瓦造、高さ2.4メートルの門柱を2.8メートル間隔で配する。その北側に1.1メートル間隔で小振りの圓柱を立てて適用門を設ける。煉瓦と石を交互に積んで縞状にした特徴的な外観をもち、浄水場施設の正面を整える。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧和泉家別邸	きゅういずみけつべてい	1棟	尾道市三軒家町	H25.12.24			千光寺山南西斜面の石垣上に立つ小住宅。木造2階建て下見板張の和館の南にモルタル塗の洋館を接続する。変形の小敷地を巧みに利用しており、2階8畳座敷や階段の造作も丁寧である。入母屋屋根に切妻破風や小庇、露台をつけ、変化に富んだ屋根構成を見せる。		










国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	みはらし亭	みはらしてい	1棟	尾道市東土堂町	H25.12.24			千光寺山東方斜面の参道に面する木造2階建、高い石壇の上に建ち、東面に縁を設けて尾道水道の眺望を得る。2階北端に12畳の主座敷を設け、南端の室は敷地形状により上下階とも変形平面を呈する。屋根は入母屋造椼瓦葺で、軒は丸太の化粧垂木を隅筋に配る。		
国	登録有形文化財(建造物)	株式会社日新林業加計出張所	かふしきがいはしやにっしんりんぎょう かけしやちやうしよ	1棟	山県郡安芸太田町	H25.12.24			街路に北面して建つ旧銀行店舗。木造平屋建であるが、正側面に庇をつけて、つし2階建の町家風に見える。屋根は寄棟造椼瓦葺で、軒は出桁造の差懸とする。庇上の窓は内部では高窓となる。正面腰のウイイル結は後の改修であるが、側背面に旧の壁紙壁残が残る。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市旧山野村役場	ふくやましきやうやまのむらやくば	1棟	福山市山野町山野	H26.4.25	木造2階建、椼瓦葺	建築面積216.71㎡	木造二階建の入母屋造椼瓦葺建造物で、三面に下屋を廻す。大棟側面の板瓦には「波に鯉」の図様をまじ、鬼瓦にも意匠を現す。内部は一階が旧執務室で、二階は旧講場で増築を吹抜とする。化粧壁根裏で垂木は半割丸太とする。県東部では現存最古の役場庁舎である。明治25年に建築され、昭和53年の改修以降、民俗資料館として使用されている。		関連施設:山野民俗資料館 (084-974-2851)
国	登録有形文化財(建造物)	旧日の丸写真館	きやうひのまるしやんかかん	1棟	竹原市本町	H26.12.19			竹原市竹原伝建地区の南西、本川左岸の道路沿い角地に所在する台形敷地一杯に建ち、西角を隅切(すみきり)とした平面で、三階は北角も斜めにする。二階に写真修整室、三階に写場と現像室を設ける。昭和7年頃に建築された後、昭和20年頃に改修されているものの、全体のかたちや開口部配置は当初を保持しており、特異な景観を創出している。		
国	登録有形文化財(建造物)	南禅坊本堂	なんぜんぼうほんどう	1棟	福山市鞆町	H26.12.19			本堂は、鞆町西側の寺院群内に構える南禅坊境内に東面する。桁行16メートル、梁間17メートル、入母屋造(いりもやづり)本瓦葺(ほんがわらぶき)で、一間の向拝(こうはい)を付す。内部を内陣、余間、外陣(げじん)に区分し、前面に吹放ちの広縁(ひろえん)、三方に落縁(おちえん)を廻す典型的な真宗本堂平面で、要素に時代相応の発達した装飾を見せる。		
国	登録有形文化財(建造物)	南禅坊山門	なんぜんぼうさんもん	1棟	福山市鞆町	H26.12.19			一間一戸(いつけんいつこ)四脚門(しきやくもん、よつあしもん)の上部に、一間四方で入母屋造本瓦葺の上層が増築され、鐘楼を吊る構造。※ 現在梵鐘は無い。福山藩の命令により安政5(1858)年に供出されたことが寺の文書(梵鐘一件記録)から分かっている。感魚(げぎょ)に文化庁(1810)年の墨書があることから、上層は1811年の第12回通信使を迎える予定で増築工事を行ったものと考えられている。木部には全体に弁柄が塗られ、上層正面及び背面に灯笼(かとうまど)、両側面に円窓がある。隅棟(すみむね)の鬼瓦にそれぞれ異なる形態の縁が彫られているのも特徴的。軒先の強い反りなど随所に、異国情緒を漂わせ、朝鮮通信使寄港地である鞆の浦の情景を彩る。		
国	登録有形文化財(建造物)	福泉坊本堂	ふくせんぼうほんどう	1棟	安芸高田市吉田町吉田	H26.12.19			郡山(おりのやま)旧城下町に所在の福泉坊の境内奥に建つ。桁行19メートル梁間21メートル、入母屋造(いりもやづり)椼瓦葺(さきがわらぶき)である。外陣(げじん)は矢来(やらい)と柱を省いた大広間とし、内陣と外陣の境には七分分の欄間(らんま)をまたぐ一対の龍を彫り、外陣組物には斜栱(しゃきやう)を用いるなど、当地で名工と謳われた西谷庄一(さいや)の力量が示される。		
国	登録有形文化財(建造物)	福泉坊庫裏	ふくせんぼうくり	1棟	安芸高田市吉田町吉田	H26.12.19			郡山旧城下町に所在の福泉坊の境内奥に建つ本堂から、渡廊下を介して接続して建つ。北端を土間とし、南側に座敷などの居室を二列並べる平面で、南列中央間は仏間とする。西列の一部では前柱を一間ごと立て、仏壇部分は旧規は浅い押床(床の間の奥行きが浅いもの)としていた点などに古様を示し、当地の真宗寺院庫裏の一例となる。		
国	登録有形文化財(建造物)	福泉坊鐘樓	ふくせんぼうしやうろう	1棟	安芸高田市吉田町吉田	H26.12.19			福泉坊の境内西方に本堂と隣接して立つ一間四方の吹き放ち鐘樓で、入母屋造(いりもやづり)椼瓦葺(さきがわらぶき)である。切石積の基壇の上に石製礎盤を置き、丸柱を四方転びに立てて腰貫と頭貫、台輪で固め、尾垂木(おだるき)付きの出組(でぐみ)を詰組(つぐみ)とする。細部絵様や組物の充実した鐘樓で、真宗寺院伽藍を特徴付ける。		









国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	福泉坊山門	ふくせんぼうさんもん	1棟	安芸高田市吉田町吉田	H26.12.19			本堂正面の西方に建つ。一間薬門(やくいもん)で、切妻造(きりつまづり)棧瓦葺(さんがわらぶき)とする。男梁(おはり)上に三斗を並べて桁と虹梁(こうりょう)を受け、軒は二軒繁垂木(ふたのきしげだるき)である。棟通り虹梁上を露彫彫刻埋の、虹梁や男梁の絵様(えよう)を江戸末期らしい華やかなものとして境内正面を飾る。		
国	登録有形文化財(建造物)	西山本館	にしやまほんかん	1棟	尾道市十四日元町	H27.3.26			旧出雲街道に面して建つ現役の旅館。木造二階建と三階建の様が複雑に組み合わされ、全ての客室が座に面するよう工夫されている。丁寧な仕上げの数寄屋(すま)や風の和室のほか、かつて外国人船員の宿泊にも対応して洋室三室を持つなど、港町の風情を醸す木造旅館建築。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅主屋	ひのけじゅうたくしゅおく	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	木造平屋建、瓦葺	建築面積44㎡	敷地中央に南面する。東の土間は重厚な梁組を現し、西の床上部は四列に四室前後を並べた広さを持つ。12畳の前側に茶室を設け、寝型の座敷に縁を廻らし、上部には採光窓を設ける。近世民家の主構造を保持しつつ、近代らしい洗練さと開放性を併せもつ大型住宅。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅洋館	ひのけじゅうたくようかん	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	木造2階建、瓦葺	建築面積92㎡	主屋南東に接続して建つ。外壁は横板張で欄間付の上下窓を並べ、奇矯造桼瓦葺とする。南面中央の出入口に幾何意匠の特送付庇を付す。1階に事務室と応接室、2階に集会室を配し、窓の室内側に和紙のロールブラインドなどを残す。瀟洒な意匠でまとめた洋館。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅米倉	ひのけじゅうたくこめくら	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積109㎡	敷地南方、表門の西に、南に流れる川に面して建つ2階建の土蔵。内部は2室に分かれ、それぞれ北方に鳥居並の柱を持つ出入口を設ける。もとは精米所や放事場などを併設していた。毛地の表構えの一部を残す建物で、東洋の歴史的な景観に寄与している。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅納戸倉及び離れ	ひのけじゅうたくなんどぐらおよびはなれ	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	(納戸倉)土蔵造2階建、瓦葺 (離れ)木造平屋建、瓦葺	建築面積199㎡	主屋の北方西寄りに、離れを介して東西棟の納戸倉が建つ。離れは6畳2室と板間に縁を廻らせた開放的なつくり。納戸倉は桁行22メートルを測る大型の2階建土蔵で、短い軒を方柱で支持する。充実した規模を誇り、漆喰で塗られた長大な外壁が田園風景に映える。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅酒造倉	ひのけじゅうたくしゅぞうくら	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積214㎡	納戸倉の東に接して東西棟で建つ。納戸倉同様、桁行22メートルの大型の2階建土蔵で、外壁漆喰塗とし、南面東寄りに塗戸を開く。内部柱は2本のみとして広大な空間をもつ。近世から生業とした酒造業を担った土蔵で、連なる納戸倉とともに雄大な屋敷構えを創る。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅納屋	ひのけじゅうたくなや	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	木造2階建、瓦葺、門付	建築面積99㎡	敷地の東方に南北棟で建ち、桁行17メートル規模で壁を真壁造とする。もとは北半を資材納屋、南半を牛舎として使用し、北半は吹放りの一層、南半は二階建ての上階を飼料置場とした。さらに南には、敷地東辺を面す門を附属する。田園趣しの屋敷規模を引立てる。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅表門及び伴部屋	ひのけじゅうたくおもてもんおよびともべや	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	(表門)木造、瓦葺、間口3.6m、西方潜り戸付 (伴部屋)木造平屋建、瓦葺	建築面積13㎡	敷地の南正面に建つ。腕木門形式の表門の西方に、潜り戸を介して、平屋建の伴部屋が番所のように接続する。表門は木太く端正な佇まいで、広島新田藩吉田陣屋の門を移したとされる。伴部屋は正面に出格子窓を付ける。屋敷の表構えに風格のある趣を与える。		










国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅御成門	ひのけしゅうたくおなりもん	1基	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	木造、銅板葺、間口1.7m		主屋西端間の御成屋敷に対して南正面に建つ。間口1.7メートルの間脇木門で、上部に欄間を嵌める。門扉は八双金物を用いて板戸を吊る。主屋のもと御成屋敷前の主庭と前庭を区画する境界装置で、気品ある佇まいを見せて敷地内景観を引き立てる。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシ(旧山本鉄工所)第一工場	やまもとろくましん(きゅうやまもとてっこうしょ)だいいちこうじょう	1棟	庄原市東城町東城	平28.2.25	木造平屋建、鉄板葺	建築面積1,421㎡	中国山地に開けた市街地に敷地を構える。削岩機製造で発展した。第一工場は中心となる木造建築。桁行78mと長大で、採光のため梁間を3スパンに分けて中央を高め、さらに越屋根を設けて工夫する。効率的な作業空間の実現により、機能美を備える。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシ(旧山本鉄工所)第二工場	やまもとろくましん(きゅうやまもとてっこうしょ)だいにこうじょう	1棟	庄原市東城町東城	平28.2.25	木造平屋建、鉄板葺	建築面積521㎡	第一工場の北方に直交して建つ。桁行約44mで、小屋にはキングポストトラスを架け、越屋根を設ける。南面と南側面には上下窓を並べて採光する。外壁はモルタル仕上げとし、壁には洗出し仕上げを施す。第一工場とともに工場の中核をなす建築。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシ(旧山本鉄工所)仕上げ工場	やまもとろくましん(きゅうやまもとてっこうしょ)しあげこうじょう	1棟	庄原市東城町東城	平28.2.25	木造平屋建、鉄板葺	建築面積417㎡	第一工場の東方に並行して建つ。桁行38mで、小屋にはクイーンポストトラスを架け、越屋根を設ける。南側面には上部を欠円アーチ形とした窓を設け、東西面には上下窓を並べて洋風意匠とする。洋風意匠で採光を工夫した戦前期地方工場建築の一例。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシ(旧山本鉄工所)青年学校	やまもとろくましん(きゅうやまもとてっこうしょ)せいねんがっこう	1棟	庄原市東城町川西	平28.2.25	木造2階建、瓦葺	建築面積309㎡	敷地南寄りに建つ。木造2階建て、屋根は半切妻とする。1階を1室の倉庫、2階を学校として使った。2階は、中廊下を通して左右に3室ずつ並べ、4学年分の教室を設ける。製造現場で中心的な役割を果たした養成工に、教育を行っていたことを示す遺構である。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシ(旧山本鉄工所)便所棟	やまもとろくましん(きゅうやまもとてっこうしょ)べんじょう	1棟	庄原市東城町東城	平28.2.25	木造平屋建、鉄板葺	建築面積18㎡	第一工場の西方に並行して建つ。従業員用の便所として建てられた。西に大便所、東に小便所と手洗いを並べる。耐寒のためガラス窓を二重にしたり、建設当初より水洗式としたりするなど、当時、先端の技術を集め、衛生的に配慮して建てられたことを示す。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシ(旧山本鉄工所)自治寮家族棟	やまもとろくましん(きゅうやまもとてっこうしょ)じちりょうかぞくどう	1棟	庄原市東城町川西新丁416-1他	平28.2.25	木造3階建、瓦葺	建築面積314㎡	工場群から道を挟んで南に自治寮施設群がある。家族棟は西寄りに南北棟で建つ。木造3階建て、屋根を半切妻とし、ドーマー窓を載せて洋風外観とする。内部は片廊下とし1・2階を和室の居室、3階は1室の会議室とする。職住分離した近代産業社会の有様を示す。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシ(旧山本鉄工所)自治寮独身棟	やまもとろくましん(きゅうやまもとてっこうしょ)じちりょうどくしんどう	1棟	庄原市東城町川西	平28.2.25	木造2階建、瓦葺、地下室付	建築面積407㎡	敷地東側に南北棟で建つ。木造2階建て、屋根を半切妻とし、桁行59mの長大な平面を持つ。西に片廊下を通し、東に押入れ付の10畳居室を並べる。廊下、居室とも開口を広く。戦中から高度成長期にかけての第2次産業を支えた職員住宅である。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシ(旧山本鉄工所)自治寮食堂・娯楽室棟	やまもとろくましん(きゅうやまもとてっこうしょ)じちりょうしょくどう・ごらくしつどう	1棟	庄原市東城町川西	平28.2.25	木造2階一部平屋建、瓦葺	建築面積281㎡	家族棟と独身棟の間に建つ。木造2階建て南北棟の食堂及び娯楽室に、平屋建て東西棟の炊事場及び炊事夫部屋が附属する。1階食堂、2階娯楽室とも1室の大空間とし、プレス成型された鋼製の天井板を張る。戦前期における自治寮の生活の様相を伝える。		










国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造事務所	ふくびんしゅぞういむじょ	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階一部平屋建、瓦葺	建築面積147平方メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心となる敷地の南面出入口西脇に建つ。2階建で外壁を横板張とした洋風外観を持つ建物で、1階をカウンターと執務室を備えた事務室、2階を和室とする。大正期における西条の造酒屋では典型的となった出入口脇の洋風事務空間。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造一号蔵	ふくびんしゅぞういちごくら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階一部平屋建、瓦葺	建築面積694平方メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心敷地の主たる酒蔵。敷地中央北寄りに東西棟で建つ。桁行20メートル2階建土蔵の東棟と、桁行23メートル2階建土蔵の西棟を平屋建の中央棟で繋いで平面となる。造酒屋の中心建物として、計約47メートルの桁行を誇る大型の土蔵。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造背戸蔵	ふくびんしゅぞうせとくら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階建一部平屋建、スレート葺	建築面積209平方メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心敷地の北辺に構える土蔵で、一号蔵の背面に位置する。東西棟で、桁行26メートル平屋建の東棟と、桁行11メートル2階建の西棟からなる。一号蔵を拡張するように東棟が、続いて西棟が増築されたと見られ、敷地北側の街路景観を成す。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造二号蔵	ふくびんしゅぞうにこくら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積410平方メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心敷地の東辺に構える土蔵。南北棟の土蔵造2階建で、屋根には赤瓦を葺く。小屋組は、和小屋の多い西条では希少な、キングポストラスを組む。白漆喰を基調とした長大な外壁が造酒屋の建ち並ぶ西条の町並みの一面を構成する。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造昭和蔵	ふくびんしゅぞうしやうわくら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造平屋建、スレート葺	建築面積138平方メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心敷地の北東隅、背戸蔵から並んで東側に東西棟で建つ。平屋建で、小屋組はキングポストラスを組む。切妻造の屋根を架ける。内部に大型のタンクを並べるため、窓を軒下の高い位置に開ける。背戸蔵と並んで通りの景観に寄与する。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造福神寮	ふくびんしゅぞうふくじんりょう	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階建、瓦葺	建築面積85平方メートル	一号蔵の西側に並んで建ち、西には従業員寮が接続する。東西棟の2階建で、通りに面した北側には敷地形状に合わせた台形平面の下屋をかけて平屋建を張り出す。三叉路の突き当たり位置することから、黒色に塗られた下見板が白壁の土蔵群にアクセントを付ける。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造従業員寮	ふくびんしゅぞうじゅうぎやういんりょう	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階建、瓦葺	建築面積120平方メートル	福神寮の西側に連続して建つ。東西棟の2階建とする。外壁は下見板張を基調とする。1階には畳敷の更衣室と土間、2階には従業員宿舎を置く。仕込み蔵に隣接して、季節労働者としての杜氏や蔵人らが起居する生活空間を残している点で貴重である。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造瓶詰場	ふくびんしゅぞうびんづめじょう	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造平屋建、瓦葺	建築面積164平方メートル	事務所の西側に瓶詰場を介して建つ。東西棟の切妻造平屋建で、赤瓦を葺く。外壁は軒下まで塗込めて土蔵風に見えるが、窓ガラスを多用して、明るい作業空間を実現する。衛生に配慮して鏡天井を張り、内部は板壁とする。漆喰壁に窓が連続する外観が特徴。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造恵比寿蔵煙突	ふくびんしゅぞうえびすぐらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	煉瓦造	高さ24メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心敷地の中央に建つ煉瓦造煙突。高さ約24メートル。基部では一辺が約2メートルの角型で、最上部には蛇腹の装飾を施す。煉瓦をイギリス積で積み上げ、周囲の赤瓦と対応して、土蔵の白壁に映える西条独特の造酒屋の景観を作り上げる。		









国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造門柱	ふくびんしゅぞうもんちゅう	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	石造	間口6.1メートル	恵比壽蔵と呼ばれる中心敷地の南辺中央に開く門。間口6.1メートルで、石柱2本を立てる。石柱は花崗岩製で、一辺82センチメートルの方形で、高さ2.0メートル、隅を面取り。表面には曲線の彫りを施して装飾とする。酒造所の表構えを成す。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造三号蔵	ふくびんしゅぞうさんごうくら	1棟	東広島市西条末広町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺、井戸付	建築面積785平方メートル	大黒蔵と呼ばれる敷地中央に東西棟で建つ。土蔵造2階建、切妻造れ瓦葺の屋根に赤瓦を葺く。南面に下屋を付し、井戸を備える。1階は土間とし、2階には換気用の天井を張り、桁行98メートルで、東西に二分した長大な平面を持つ。創業後の拡張の過程を示す遺構。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造四号蔵北棟	ふくびんしゅぞうよんごうくらきたとう	1棟	東広島市西条末広町	平28.8.1	土蔵造2階建、スレート葺	建築面積406平方メートル	大黒蔵と呼ばれる敷地の東側北寄りに南北棟で建つ。土蔵造2階建、切妻造。小屋はキングポストトラスを組む。西面には二重梁で下屋をかける。北面には板壁を張り、窓には漆喰差込の格子をはめて堅固に見せる。敷地いっばいに酒蔵が建ち並ぶ独特な美観を成す。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造四号蔵南棟	ふくびんしゅぞうよんごうくらみなみとう	1棟	東広島市西条末広町	平28.8.1	土蔵造2階建、スレート葺	建築面積406平方メートル	大黒蔵と呼ばれる敷地の東側北寄りに南北棟で建つ。土蔵造2階建、切妻造。小屋はキングポストトラスを組む。西面には二重梁で下屋をかける。北面には板壁を張り、窓には漆喰差込の格子をはめて堅固に見せる。敷地いっばいに酒蔵が建ち並ぶ独特な美観を成す。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造三号蔵煙突	ふくびんしゅぞうさんごうくらえんとつ	1基	東広島市西条末広町	平28.8.1	煉瓦造	高さ27メートル	大黒蔵と呼ばれる敷地の中央、三号蔵の南に附属して建つ。基部で一辺2.2メートルを測る角型のイギリス横煉瓦造煙突で、高さは27メートルになる。安芸津町で焼いた煉瓦を用いたという伝えがあり、西条に現存する煉瓦造煙突では最も高いものとなる。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造店舗兼主屋	かもしずみしゅぞうてんぼけんしゅおく	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	木造2階建、瓦葺	建築面積179平方メートル	通りに北面して建つ。平面は、東に土間を通し、西に2列6室の室を並べる。西列中室を仏間、奥室を10畳の主座敷とし、本格的な座敷飾を備える。正面側には2階を設ける。正面外観は開口部の縦格子を基調とし、2階には袖壁を設けて伝統的な町家の趣となる。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造新産敷	かもしずみしゅぞうしんざんしき	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	木造2階建、瓦葺	建築面積229平方メートル	店舗兼主屋の西側に接続して建つ。南には重森三治作の庭が広がり、そちらへの眺望を意識して広い縁を廻らす。東寄りに東西続きの3室を、西寄りに南北続きの2室を配し、それぞれ数寄屋意匠を凝らした座敷飾りや天井を持ち、接客を意識した建物である。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造土蔵	かもしずみしゅぞうどぞう	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積16平方メートル	新産敷の北西に接続して建つ内蔵。元は主屋の西に接して建てていたというが、新産敷建設時に現在地へ変遷された。1階裏面に数格子子の窓を二つ並べるほかは窓を持たない閉鎖的な空間となる。北面には水切瓦を1列入れて、外観上の特徴とする。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造門及び塀	かもしずみしゅぞうもんおよびへい	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	門 木造、瓦葺 塀 木造、瓦葺	門 間口2.7メートル 塀 延長15メートル	敷地北辺を面す門及び塀で、店舗兼主屋から土蔵までを繋ぎ、新産敷の玄関前に門を開く。門は薬医門形式で切妻造れ瓦葺とする。塀は真壁造として、通りに面した側は、下部に板を張り、上部を鼠漆喰で仕上げる。いずれも赤瓦を葺いて、通りの景観を印象付ける。		







国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造前蔵	かもいずみしゅぞうまえくら	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積199平方メートル	店舗兼主屋から通りを挟んだ北側に南面して建つ。2階建の土蔵で、小屋組はキングポストラスとする。外壁は白漆喰で、腰は水平に瓦を貼る海鼠壁とし、妻側上部には水切瓦を入れる。店舗兼主屋や門及び塀と共に酒蔵の建ち並ぶ旧西条街道の景観を構成する。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造通路棟	かもいずみしゅぞうつうどう	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積159平方メートル	店舗兼主屋の南辺東端と、中蔵及び東蔵の北辺とを結び、西辺は火蔵と接続する南北棟の建物。土蔵造2階建で、現在は各土蔵と店舗兼主屋を繋ぎ、商品倉庫として用いられているが、当初は酒蔵として建てられたと見られる。賀茂泉酒造創業時期の状況を伝える。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造火蔵	かもいずみしゅぞうひくら	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積355平方メートル	通路棟の西に接続する2階建土蔵。北東棟と南西棟の2棟を包摂して東西棟の1棟となったもの。重森三鈴が新座敷に作庭した後、その指示に従って海鼠壁を貼る改修を行い、庭園の背景として調和させた。酒造のみならず、庭園空間の構成要素となる土蔵である。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造中蔵及び東蔵	かもいずみしゅぞうなかくらおよびひがしくら	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積324平方メートル	通路棟の南に接続して建つ。1階の通路を挟んで東を東蔵、西を中蔵と呼ぶが、東西棟の1棟である。土蔵造2階建で、外壁は白漆喰塗の大壁とする。窓には漆喰塗込の格子を立て、東妻側には水切瓦を入れる。赤瓦を葺く規模の大きな酒蔵である。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造煙突	かもいずみしゅぞうえんとつ	1基	東広島市西条上市町	平28.8.1	煉瓦造	高さ約18メートル	中蔵及び東蔵の東に立つ煉瓦造煙突。角型で、基部が一边1.6メートル、高さ17.7メートルとなる。煙突の上部には装飾の要素を備える。他の西条の煉瓦造煙突と同様、煉瓦をイギリス積とする。使用は停止されたが、象徴的な景観として残されている。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧広島県西条清酒醸造支場本館	きゅうひろしまけんさいじょうせいしゅじょうぞうしじょうほんかん	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	木造2階建, 瓦葺	建築面積101平方メートル	広島県食品工業試験場の支場として開設された。賀茂泉酒造の南に敷地を構える。本館は北面して建つ南北半切妻の2階建洋館で、元は1階が実験室、2階が事務室である。正面には付柱に庇を設け、ポーチとする。醸造技術開発の拠点として用いられた施設。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧広島県西条清酒醸造支場精米所	きゅうひろしまけんさいじょうせいしゅじょうぞうしじょうせいまいじょ	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	木造平屋建, スレート葺	建築面積138平方メートル	本館の南に渡り廊下を介して接続して建つ。南北棟の平屋建であるが、酒造用の精米機の高さに合わせて棟の高さを違え、南に向けて3段に高めてゆく特徴的な立面を持つ。外壁を根板壁とし、切妻達の屋根頂部にはフィニアルを掲げて洋風意匠を見せる。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧広島県西条清酒醸造支場醸造蔵	きゅうひろしまけんさいじょうせいしゅじょうぞうしじょうじょうぞうくら	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	鉄筋コンクリート造2階建, 瓦葺	建築面積396平方メートル	本館の東方。賀茂泉酒造火蔵の南方に東西棟で建つ。南には下屋を架けて張り出す。鉄筋コンクリート造2階建の醸造蔵で、小屋は鋼製のアンガル材を用いてキングポストラスに組む。西条の醸造施設としては最も古い鉄筋コンクリート造施設の一つである。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧広島県西条清酒醸造支場煙突	きゅうひろしまけんさいじょうせいしゅじょうぞうしじょうえんとつ	1基	東広島市西条上市町	平28.8.1	鉄筋コンクリート造	高さ19メートル	醸造蔵に附属する煙突で、醸造蔵の南に立つ。鉄筋コンクリート造の丸型煙突で、基部の直径は約1.3メートル、高さは約19メートルとなる。大阪鐵筋混泥土工務所の施工。醸造蔵と共に、西条の鉄筋コンクリート造施設としては最も古いものの一つ。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	旧広島県西条清酒醸造支場門柱	きゅうひろしまけんさいじょうせいしゅじょうぞうしじょうもんちゅう	1基	東広島市西条上市町	平28.8.1	コンクリート造	間口4.6メートル	旧広島県西条清酒醸造支場の正門として立てられた。鉄筋コンクリート造の門柱で、表面は洗い出し仕上げとする。側面の隅部には3段の段線を施して装飾とする。門柱の上部には照明用ブラケットの金具があり、元は上部に照明が付いていたと見られる。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造洋館	きらいしゅぞうようかん	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造平屋建、瓦葺	建築面積18平方メートル	敷地の南辺西寄りに接道して建つ。北は事務所と接続する。屋根は半切妻の棧瓦葺とする。平屋建の洋風建物で、内部は一室の応接間として用いられる。天井は蜀江文様形の格天井とする。窓は上げ下げ窓とする。洋風建物を併設した西条の造酒屋の典型例。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造一号蔵	きらいしゅぞういちごうら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積642平方メートル	中心敷地の東辺北寄りに南北棟を建て、更に北辺に沿って東西棟を接続した矩折れの平面を持つ。南北棟は桁行34メートルで土蔵造2階建、西面に下屋を付す。東西棟は桁行17メートルの土蔵造2階建、西端を半切妻とする。外壁の白漆喰に赤瓦が映える。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造一号蔵煙突	きらいしゅぞういちごうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	煉瓦造	高さ24m	中心敷地の中央に建つ。煉瓦造の角型煙突で、基底部は一边が1.9メートルとなる。高さは24メートル。煉瓦は西条の煉瓦造煙突でよく見られるイギリス積とする。上部には蛇腹を付けて装飾を施す。街中に屹立する煙突の1本で、酒造りの町を特徴付けている。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造門柱	きらいしゅぞうもんちゅう	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	石造、脇柱付	間口5.4メートル	洋館の東端。敷地南辺の中央に開く門。洋館の曳家に併せて立てたという。花崗岩製の門柱で、西側の柱には金属製表札をはめる。一边のセツメメートル、高さ2.5メートル。表面を瘤(こぶ)出しとして仕上げ、隅を唐戸面のように取って立体感を出し、表構えを作る。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造五号蔵	きらいしゅぞうごごうら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積597平方メートル	中心敷地から道を挟んで北東の敷地に構える土蔵。中央棟は東西棟の2階建て、東を切妻、西を入母屋造とする。中央棟を増築する形で、敷地いっぱい北棟を並行して建てる。北棟は白漆喰の外壁に、腰には彫子(ささらこ)下見を張って、街路景観を形成している。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造七号蔵煙突	きらいしゅぞうななごうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	煉瓦造	高さ約20メートル	中心敷地から150メートルほど北東の敷地に建つ七号蔵に附属する煙突。戦後の一時期、ここで醤油醸造が行われており、その施設の一部と伝わる。基部の直径が1.7メートル、高さ19.5メートルで、西条地区に唯一残る円形の煉瓦煙突となる。		
国	登録有形文化財(建造物)	西條鶴醸造店舗兼主屋	さいじょうつるしゅうぞうてんぼけんしゅおく	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階建、瓦葺	建築面積155平方メートル	南北に細長い敷地の南西端に接道して建つ店舗兼主屋。正面西側には跳ね上げ式の大戸を介して土間を通し、東側に居室を並べる。正面から2室目の4畳半を居室への上り口とし、背面側の8畳座敷には床廻りには銘木を用いるなど意匠を凝らす。		
国	登録有形文化財(建造物)	西條鶴醸造角屋	さいじょうつるしゅうぞうつや	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階一部3階建、スレート葺、井戸付	建築面積85平方メートル	店舗兼主屋の背面に接して建つ。1階は主に土間とし、2階に居室を配す。南寄りには望楼状の3階を設け、室内は洋風意匠でまとめる。内部に「天保井水」と称される井戸を備える。屋根周りもスレート葺とするなど、敷地内の意匠上のハイライトとなる建築である。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	西條鶴醸造酒宝蔵醸造蔵	さいじょうつるじょうぞうしゅほうくら じょうぞうくら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積153平方メートル	敷地背面寄りの酒宝蔵と呼ばれる一連の蔵のうち、南寄りに建つ。桁行10間、梁間4間半で、土蔵造2階建、切妻造平入の赤瓦葺。壁は漆喰塗で外側を大壁、内部は真壁とする。小屋組はトラスで、東半のみ2階床を張る。敷地の中で醸造機能の核をなす建物。		
国	登録有形文化財(建造物)	西條鶴醸造酒宝蔵仕込蔵	さいじょうつるじょうぞうしゅほうくら しこみくら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積221平方メートル	敷地背面寄りの酒宝蔵と呼ばれる一連の蔵のうち、北寄りに建つ。桁行10間梁間6間で、やや不整形の平面とする土蔵造赤瓦葺。小屋組はトラスで、東半の一部を吹き抜けとする。壁は漆喰塗で背面側は腰下見板張、内部は真壁とする。格子窓が並ぶ外壁が特徴的。		
国	登録有形文化財(建造物)	西條鶴醸造酒宝蔵煙突	さいじょうつるじょうぞうしゅほうくら えんとつ	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	煉瓦造	高さ19メートル	敷地中央、角屋の西側に位置する。方形の煉瓦造煙突で、基部の一边1.7メートル、高さ19メートル。醸造蔵の南に位置する釜場から煙道を介してこの煙突に排出される。醸造業が集中し、煙突が数多く残る西条の景観を特徴付ける。		
国	登録有形文化財(建造物)	山陽鶴酒造黒松一号蔵	さんようつるしゅうぞうくろまついちご うくら	1棟	東広島市西条岡町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積207平方メートル	敷地の南寄りに建つ。切妻造平入の大規模な土蔵造2階建て、桁行6間、梁間5間の主体部に、西面と南面に下屋が取り付く。外壁は下見板張りで、小屋はトラス、屋根は桧瓦葺である。広大な赤瓦の屋根面と妻面、西条の景観を形作る建物である。		
国	登録有形文化財(建造物)	山陽鶴酒造黒松二号蔵	さんようつるしゅうぞうくろまつにこう うくら	1棟	東広島市西条岡町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積179平方メートル	黒松一号蔵の背面に妻を接して建つ。土蔵造2階建て、桁行10間、梁間5間で、南北棟の長方形平面である。内部は南半のみ2階床を張り、北側は吹き抜けとする。小屋組はトラスで、陸梁と合掌材には丸太材を用いる。長大な屋根面が地区の景観を特徴付けている。		
国	登録有形文化財(建造物)	山陽鶴酒造黒松三号蔵	さんようつるしゅうぞうくろまつさんご うくら	1棟	東広島市西条岡町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積78平方メートル	黒松二号蔵の東側に、やや軸を振って建つ。桁行5間、梁間4間の2階建土蔵造で、全面に2階床を張るが、階段は設けず。2階には二号蔵から出入りする。外壁は下見板張、内壁は漆喰塗真壁とする。街路に面した下見板張りが往時の景観を今に伝えている。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧万寿之井酒造酒造蔵	きゅうすのいしゅうぞうくら	1棟	三次市三次町	平29.5.2	木造2階建、瓦葺、煙突付	建築面積298㎡	西城川の右岸に位置し、長大な立面を見せる酒造蔵。桁行31メートル、梁間9.8メートルで、煙突が附属する。後補の南4間分は1階を検査室と培養室、2階を醸造室とし、北側は1階を仕込蔵、2階を酒母蔵とする。河港として栄えていた三次の歴史を今に伝える。 明治前期/昭和前期増改築		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅主屋	みやけけいしゅうたくしゅおく	1棟	安芸郡海田町福荷町	平29.5.2	木造2階建、瓦葺	建築面積125㎡	旧山陽道に北面する商家。妻入のツジ2階建、棟瓦葺。東側に通り土間を通し、表側から、ミセ、ゲンカン、ナカノマ、ザジキの1列4室を並べる。正面に奥行1間の大きな下屋庇を設け、ツジ2階の正面は塗箱の軸組を見せ、街道沿いの歴史的景観を今に伝えている。 江戸時代後期/明治中期改修		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅衣裳蔵	みやけけいしゅうたくいしょうくら	1基	安芸郡海田町福荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積63㎡	南北に細長い敷地の、中ほど東寄りに建つ。桁行5間、梁間3間、2階建土蔵で、屋根は桧瓦葺。内部は1、2階とも1室とし、西側正面には全長に渡って1間幅の庇をかけ、南端部のみ囲って道具入れとする。近世商家の屋敷構えを構成する建物である。 江戸時代後期		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅新蔵	みやけけいじゅうたくしんくら	1棟	安芸郡海田町稲荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積21㎡	敷地中ほどの西寄りに建ち、衣裳蔵と対面する。桁行3間、梁間2間、2階建てで、屋根は棧瓦葺。正面中央やや北寄りの扉口を設け、1、2階とも正面のみに半間幅、鉄格子の内側に内開きの塗籠戸とする窓を開く。敷地内の土蔵の中では最も丁寧な作りになる。 明治後期		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅古米蔵	みやけけいじゅうたくふるこめくら	1棟	安芸郡海田町稲荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積43㎡	敷地中央西側、新蔵の南に建つ。桁行5間、梁間3間、2階建てで、1階中央に扉口を開き、その両側に窓を設け、2階には窓4箇所を開く。1階開口部には板庇を設ける。敷地内では最も規模が大きい土蔵で、白壁に窓を開く外観が、敷地景観を形づけている。 江戸時代後期		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅新米蔵	みやけけいじゅうたくしんこめくら	1棟	安芸郡海田町稲荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積29㎡	敷地中央東側、衣裳蔵の南に建ち、古米蔵と対面する。桁行3間、梁間2間と小規模な2階建てで、1、2階とも1室とし、南東面に窓2箇所を開く。正面側には全長に渡って庇を設けている。敷地南端の裏長屋門近くにおいて、小作米を貯蔵していた土蔵である。 明治時代後期		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅裏長屋門	みやけけいじゅうたくらながやもん	1棟	安芸郡海田町稲荷町	平29.5.2	木造平屋建、瓦葺	建築面積53㎡	敷地南端を面す長屋門。元は瀬野川旧流路の河岸に面していた。桁行8間半、梁間1間半の東西棟の中央やや西寄りに門口を開き、その西は桁行3間、梁間2間の規模で北に延ばして既舎とする。水陸の中継商業で栄えた海田町の歴史を今に伝える建物である。 江戸時代後期		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造本社事務所	かもつるしゅざうほんしゃむしょ	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	木造2階建、瓦葺	建築面積108㎡			昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造研究室棟	かもつるしゅざうけんきゅうしつどう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	木造平屋建、瓦葺	建築面積34㎡			昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造二号蔵東西棟	かもつるしゅざうごうらとうざいどう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積723㎡			明治後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造二号蔵南北棟	かもつるしゅざうごうらなんぼくどう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積625㎡			明治後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造二号蔵東井戸	かもつるしゅざうごうらひがしいど	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積1.7㎡			明治後期









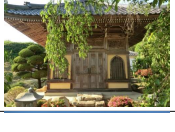
国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造二号蔵西井戸	かもつるしゅぞうにごうらにいび	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積2.6㎡			明治後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造二号蔵煙突	かもつるしゅぞうにごうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積2.1㎡			明治後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造三号蔵	かもつるしゅぞうさんごうくら	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積918㎡			大正前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造三号蔵煙突	かもつるしゅぞうさんごうくらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積3.6㎡			大正前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造四号蔵	かもつるしゅぞうよんごうくら	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積1,099㎡	西条の酒蔵群の北寄りに位置する。敷地南端に建つ洋風意匠の本社事務所、研究室棟の背後に二号蔵、三号蔵、四号蔵、八号蔵が並ぶ。それぞれの井戸、煙突なども建つ。蔵は漆喰壁の下部を海風壁とし、酒造の街の特色ある景観を形作る。また、いずれも規模の大きな建物で、特にL字型平面を持つ三号蔵の二階部分は、内部に間仕切りを設けず長大な一室とするなど、見所も多い。煉瓦造の煙突はそれぞれ上部に「賀茂鶴」、「賀茂鶴第三蔵造場」、「賀茂鶴第四蔵造場」などの文字を掲げ、地域のランドマークとして広く親しまれている。蓬莱庵画室棟は東京都文京区の日本画家児玉希望自邸内の画室及び茶室を移築したもの。		大正後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造四号蔵井戸	かもつるしゅぞうよんごうらにいび	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積3.4㎡			大正後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造四号蔵煙突	かもつるしゅぞうよんごうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積3.2㎡			大正後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造八号蔵煙突	かもつるしゅぞうはちごうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積2.4㎡			昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造蓬莱庵画室棟	かもつるしゅぞうほうらいあながしつど	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	木造平屋建、瓦葺	建築面積93㎡			昭和前期/平成17年移築




国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造一号蔵西棟	かもつるしゅぞういちごうぐらにしとう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積528㎡			明治前期/大正期・昭和前期増築, 平成28年改修
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造一号蔵東棟	かもつるしゅぞういちごうぐらひがしとう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積175㎡			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造一号蔵北土蔵	かもつるしゅぞういちごうぐらきたどぞう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積31㎡			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造一号蔵南土蔵	かもつるしゅぞういちごうぐらみなみどぞう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造平屋建, 瓦葺	建築面積41㎡			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造一号蔵井戸	かもつるしゅぞういちごうぐらいど	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積3.2㎡			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	旧石井家住宅主屋	きゅういしいけしゅうたくしゅおく	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	木造2階建, 瓦葺	建築面積171㎡			大正期
国	登録有形文化財(建造物)	旧石井家住宅土蔵	きゅういしいけしゅうたくどぞう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積45㎡	酒造業者の住宅主屋と土蔵。いずれも大正期に建てられたもので、正面右手に土間を通し、左手に居室を設ける。		大正期
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造延宝蔵南端棟	はくぼたんしゅぞうえんぼうぐらなんたんとう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積115㎡			江戸中期/江戸後期・昭和中期改修
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造延宝蔵北端棟	はくぼたんしゅぞうえんぼうぐらほくたんとう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積505㎡			明治前期/昭和34年増築






旧西国街道に面し、西条の酒蔵群の南西寄りに位置する。敷地の西側に長い立面を見せる南端棟。その








国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造延宝蔵井戸	はくぼたんしゅぞうえんぼうぐらいど	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積2.7㎡	北に伸びるL字型平面の北端棟と、右隣の重厚な井戸屋形を備える井戸、煉瓦造の煙突が並ぶ。		江戸中期/昭和中期改修
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造延宝蔵煙突	はくぼたんしゅぞうえんぼうぐらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積3.7㎡			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造天保蔵仕込蔵	はくぼたんしゅぞうてんぽうぐらしこみぐら	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積307㎡	延宝蔵から旧西国街道を挟んで南東方に位置する。昭和前期に建てられた大規模な蔵である仕込蔵。敷地南方に位置する精米所、及び井戸と煉瓦造の煙突が並ぶ。煙突は地域の煉瓦造煙突の中でもひときわ高く「白牡丹」の字を掲げてランドマークとなっている。		昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造天保蔵精米所	はくぼたんしゅぞうてんぽうせいまいじよ	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積121㎡			明治後期/昭和36年増改築
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造天保蔵井戸	はくぼたんしゅぞうてんぽうぐらいど	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積1.1㎡			江戸末期
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造天保蔵煙突	はくぼたんしゅぞうてんぽうぐらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積2.8㎡			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	小島屋土蔵	こじまやどぞう	1棟	東広島市西条本町	平29.10.27	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積28㎡	酒造蔵が建ち並ぶ西条中心地に現存する土蔵の中で最も古く、天保7年(1836年)建築である。置屋根形式で外壁は基礎石上に整(たて)板を高く張り、西条の景観を特徴づける。		天保7(1836)年/平成28年改修
国	登録有形文化財(建造物)	桑田家住宅主屋	くわだけじゅうたくしゅおく	1棟	府中市本山町	平29.10.27	木造平屋建、茅葺(銅板仮葺)	建築面積174㎡			江戸末期/明治前期・昭和前期・昭和42年頃・平成26年改修
国	登録有形文化財(建造物)	桑田家住宅離れ	くわだけじゅうたくはなれ	1棟	府中市本山町	平29.10.27	木造平屋建、瓦葺	建築面積65㎡	崖地に高い石垣を築いて整形した土地に建つ農家。主屋は江戸末期の当地方における標準的平面を持つ大型農家で、西側に建つ離れは昭和期の建築で、座敷に縁(びわ)床を掛け、欄間窓等に漆を塗る。石垣は6メートル超と高く積み、打ち込み接ぎの精緻なもので、塀は土塀で漆喰塗とし、地域の景観を特徴付けている。		江戸末期/明治前期・昭和前期・昭和42年頃・平成26年改修







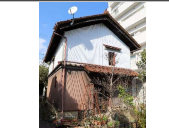


国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	桑田家住宅石垣及び塀	くわけしじゅうたくいしがきおよびへい	1基	府中市本山町	平29.10.27	石垣:石造 塀:土塀、瓦葺	石垣:延長38m 塀:延長36m			明治後期/昭和前期増築
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅裏門及び土塀	たきぐちけしじゅうたくうらもんおよびどへい	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					明治35年頃
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅木小屋	たきぐちけしじゅうたくきこや	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					大正期
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅客殿及び渡廊下	たきぐちけしじゅうたくきゃくてんおよびわたりうらうか	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					大正15年頃
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅主屋	たきぐちけしじゅうたくしゅおく	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					大正2年
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅中門及び袖塀	たきぐちけしじゅうたく	1棟	庄原市春田町	平30.3.27			山陰と山陽を結ぶ交通の要衝に建ち、明治35年に診療所を開業した。長屋門は院長の居室や入院施設をもち、併設する診療所と共に明治後期の地方病院の形式をよく伝える。主屋は敷地中央に建ち、接客用の座敷を私的な居室を前後で区分しており、式合玄関の虹梁や仕格子の意匠をみせ、重厚な造りと随所に大工の技量が発揮される。主屋の西方に渡り廊下を介して客殿が建つ。客殿は平屋建てであるが建ちが高く、入母屋造の屋根に絨(しゃら)瓦を載せ重厚な外観をみせる。納戸は主屋南に建つ寝室がある家族用の建物で、便所や風呂も往時の姿をよく留める内向きの施設。土蔵は敷地東面に建ち、土塀と一体となり前面道路からの景観を構成する。納屋は土蔵の南に建ち、往診用馬車の厩(うまや)や養蚕の作業所として使用され、栗(くり)材の柱に地蔵性を示す。木小屋は納屋に直交して建ち、薪置き場や漬物小屋、養蚕に使用され雪国における生活を支える施設。中門及び袖塀は主屋の玄関前と座敷や客殿の庭園を圍す。裏門は敷地南面に開き、敷地を圍む土塀等は総延長192メートルにも及び、亀甲積の石垣上に建ち、歴史的な景観を形成している。		大正2年頃
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅土蔵	たきぐちけしじゅうたく	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					大正期/昭和後期改修
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅長屋門及び診療所	たきぐちけしじゅうたく	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					明治35年頃
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅納屋	たきぐちけしじゅうたく	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					大正期










国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅納戸	たきくちけしゅうたくなんど	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					明治後期
国	登録有形文化財(建造物)	旧片野製パン所	きゅうかたのせいばんしょ	1棟	府中市上下町上下	平30.11.2	木造2階建、瓦葺一部金属板葺	建築面積23㎡	下町本通りの角地に建つ。モルタル大壁の一階にアーチ窓、二階に縦長窓を並べ、隅部の柱形や軒蛇腹、開口部のレリーフなどで豊かに飾る。		昭和9年/平成17年改修
国	登録有形文化財(建造物)	榎野家住宅主屋	えのけしゅうたくしゅおく	1棟	東広島市西条土与丸	平30.11.2	木造2階建、瓦葺	建築面積94㎡	旧西園街並に北面して建つ町屋主屋。切妻造りの二階建てで、出格子を備えた表構えが伝統的な街並景観を形成している。		明治2年頃/昭和55年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	伊原家住宅主屋	いはらけしゅうたくしゅおく	1棟	東広島市高屋町白市	平30.11.2	木造2階建、瓦葺	建築面積289㎡			大正5年頃/昭和30年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	伊原家住宅茶室	いはらけしゅうたくしゅおく	1棟	東広島市高屋町白市	平30.11.2	木造平屋建、銅板葺	建築面積20㎡	白市中心部にある地主の住宅。主屋は街路に北面して建つ入母屋造り妻入りの二階建てで、随所に趣向を凝らした造作を施す。入母屋の小棟を重ね、繊細な格子が並ぶ表構えが特徴的な大型町屋である。敷地後方に建つ茶室は野趣に富む数寄屋意匠。主屋の正面西側を区切る門及び扉は、放射状の格子欄間や棧内形態に和風意匠の近代的な創意が表れている。		大正前期/昭和50年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	伊原家住宅門及び塀	いはらけしゅうたくもんおよびへい	1棟	東広島市高屋町白市	平30.11.2	門:木造、瓦葺 塀:木造、瓦葺	門:間口1.6m 塀:総延長13m			大正5年頃
国	登録有形文化財(建造物)	多門亭	たもんてい	1棟	尾道市東土堂町	平31.3.29	木造2階建、瓦葺	建築面積125㎡	千光寺山南腹にある旧料亭。切妻造りの総二階建てで上下階に各玄関を設け、一階に中廊下を通して小座敷を並べ、二階に大座敷を配する。山腹に広がる市街地の歴史的景観の構成要素である。		大正9年頃/昭和40年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	専教寺本堂	せんきょうじほんどう	1棟	安芸高田市高宮町船木	令元.12.5	木造平屋建、銅板葺	建築面積408㎡	専教寺は安芸高田市北東部に位置する浄土真宗本願寺派の寺院。寛政6(1794)年建立の本堂は、外陣(げじん)正面柱間7間と大規模で、内部を円柱、側(がわ)廻り(まわり)を角柱とし、広い畳敷きの外陣、装飾的な内外障(ないげしんさいかい)、内陣(ないじん)背後の後門(ごうもん)など真宗本堂の典型的な平面で、江戸後期真宗本堂の好例。		寛政6(1794)年/大正2年改修
国	登録有形文化財(建造物)	専教寺納骨堂	せんきょうじのうこつどう	1棟	安芸高田市高宮町船木	令元.12.5	木造平屋建、瓦葺	建築面積21㎡	納骨堂は、境内北端に南面(なんめん)して建つ。正面三間、側面二間、宝(ほう)形造り檜(きょうづくりさん)瓦(かわら)葺(ふき)で、正面中央に両折(もうおり)檜(さん)席戸(からと)と両脇に花頭(かとう)窓(まど)を設け、彫刻欄間(は)は(は)める。内部は畳敷きの一室で、奥に仏像を安置し、均整のとれた外観である。		昭和中期







国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考	
国	登録有形文化財(建造物)	専教寺山門	せんきょうじさんもん	1棟	安芸高田市高宮町船木	令元.12.5	木造、瓦葺、左右袖扉付	間口3.9m、	大正3年建立の山門(さんもん)は本堂の正面に西面(せいめん)して建つ。切妻造り(きりつまづり)檜瓦葺きの四(し)脚門(きやくもん)で、虹(こう)梁(りよう)、木(き)鼻(ばな)、大瓶束(たいいひづか)などを多彩な彫刻で飾るなど、境内の表(おもて)構えがまえを形成。		大正3年	
国	登録有形文化財(建造物)	向酒店舗業主屋	むかいざけてんてんぼけんおもや	1棟	尾道市久保一丁目	令2.4.3	木造二階建、瓦葺	建築面積77㎡	向酒店舗業主屋は尾道市街地に建つ店舗兼用住宅。大屋根は檜瓦葺だが、一階正面の庇(ひさし)を本瓦葺として重厚に見せる。二階の建ちは高く、近代の町家の特徴を持っている。		大正14年頃	
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造離れ	かねみつしゅぞうはなれ	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	木造平屋建、瓦葺	建築面積75㎡			大正後期	
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造瓶詰所	かねみつしゅぞうびんづめしよ	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	木造二階建、瓦葺	建築面積50㎡			大正前期	
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造包装所	かねみつしゅぞうほうそうしよ	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	土蔵造二階建、瓦葺	建築面積51㎡			明治前期	
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造仕込蔵	かねみつしゅぞうしこみぐら	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	土蔵造二階建、瓦葺	建築面積409㎡			明治前期/明治後期増築	
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造貯蔵蔵	かねみつしゅぞうちようくら	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	土蔵造二階建、瓦葺	建築面積315㎡	金光酒造は東広島市の南西部、黒瀬川流域に位置する。離れは主屋(登録範囲外)の南側に渡り廊下を介して建つ。磨き丸太の縁桁(えんげた)など数寄屋意匠を取り入れた造酒家の離れ。瓶詰所は住宅の一部を、包装所は家財蔵を、それぞれ転用したもので、醸造施設の一部を構成する建物。仕込蔵は土蔵造り2階建てで、1階で仕込みを行う醸造施設の主要な建物。貯蔵蔵は仕込蔵に接して建つ。桁行39mと長大な土蔵。扉面からよく見え、酒造場の景観を形成している。井戸小屋は木造平屋建てで、四隅に柱を立て、中央に石造で井桁を組んだ井戸を配す。酒造りに欠かせない水を供給する施設。門及び塀は主屋から東に延びる塀の中央に一間薬医門を開く。煙突は高さ12mのイギリス積み風の煉瓦造で、地域のシンボルとなる。			明治後期/大正後期増築
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造井戸小屋	かねみつしゅぞういどこや	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	木造平屋建、瓦葺	建築面積11㎡			昭和前期	
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造門及び塀	かねみつしゅぞうもんおよびい	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	門:木造、瓦葺 塀:木造、瓦葺	門:木間口1.9m/塀:総延長5.6m			昭和前期	

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考	
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造煙突	かねみつしほぞうえんとつ	1基	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	煉瓦造	高さ12m			昭和前期	
国	登録有形文化財(建造物)	榊山八幡神社本殿	さかきやまはちまんじんしゃ ほんでん	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	木造平屋建, 銅板葺	建築面積22㎡			明治40年/昭和前期改修	
国	登録有形文化財(建造物)	榊山八幡神社 拝殿及び幣殿	さかきやまはちまんじんしゃ はいでん およびはらいでん	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	木造平屋建, 銅板葺	建築面積149㎡			明治40年/昭和58年改修	
国	登録有形文化財(建造物)	榊山八幡神社 神門及び塙	さかきやまはちまんじんしゃ しんもん およびへい	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	門:木造, 瓦葺, 間口1.8m/塙:木造, 瓦葺, 総延長76m	門:間口1.8m/塙:総延長76m	榊山八幡神社は瀬戸内海を臨む丘の上にある神社。本殿は明治40年の建築で、境内の奥に南面して建つ。重厚なつり。拝殿及び幣殿は本殿正面の石段下に建ち、社頭(しゃとう)景観を重厚に演出している。神門及び塙は本殿の四角を囲繞(いじょう)する門と塙。神門は一間廊木門で、森殿(しんげん)な本殿回りの景観を整えている。松尾神社本殿は瀬道頭保者が松尾大社から勧請(かんじょう)したもので、地域の酒造業繁栄の歴史を物語る社殿。護国神社本殿は拝殿前方の参道に建ち、村内無没者を祀る社殿。隨身門は三間一戸八脚門(さんげんいっくはつきゃもん)で、境内で唯一の近世建築。		昭和15年	
国	登録有形文化財(建造物)	榊山八幡神社 松尾神社本殿	さかきやまはちまんじんしゃ まつおじんしゃほんでん	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	木造平屋建, 銅板葺	建築面積3.5㎡				昭和4年頃
国	登録有形文化財(建造物)	榊山八幡神社 護国神社本殿	さかきやまはちまんじんしゃ ごこくしんしゃほんでん	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	木造平屋建, 銅板葺	建築面積7.3㎡				昭和28年頃
国	登録有形文化財(建造物)	榊山八幡神社 隨身門	さかきやまはちまんじんしゃ ずいじんもん	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	木造平屋建, 銅板葺	建築面積18㎡				天明2年(1782)頃/昭和10年代改修
国	登録有形文化財(建造物)	旧江田島海軍下士卒集会所(海友舎)二階建棟	きゅうえんたいまかいぐんかしそつしやうかいしよかいゆうしや にかいだてどう	1棟	江田島市江田島町中央二丁目	令2.4.3	木造二階建, 瓦葺	建築面積83㎡				明治40年
国	登録有形文化財(建造物)	旧江田島海軍下士卒集会所(海友舎)平屋建棟	きゅうえんたいまかいぐんかしそつしやうかいしよかいゆうしや ひらやだてどう	1棟	江田島市江田島町中央二丁目	令2.4.3	木造平屋建, 瓦葺	建築面積192㎡				明治38年/昭和3年移築

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	榊森神社本殿	さかきやましんじや ほんでん	1棟	安芸郡熊野町	令2.4.3	木造平屋建, 銅板葺	建築面積18㎡	榊森神社は熊野町北部に位置し, 本殿は石段を登った境内地の北西に建つ。三間社流造(さんげんしゃながれづくり)銅板葺き。拜殿は本殿の南に渡殿及び幣殿を介して建つ。入母屋造り妻入りの屋根は境内空間の象徴的な存在。		江戸末期/明治16年改修
国	登録有形文化財(建造物)	榊森神社拜殿	さかきやましんじや はらいでん	1棟	安芸郡熊野町	令2.4.3	木造平屋建, 瓦葺	建築面積40㎡	同上		明治16年頃
国	登録有形文化財(建造物)	翁座	おきなざ	1棟	府中市上下町上下	令2.8.17	木造二階建, 切妻造れ瓦葺	建築面積418㎡	歴史的な町並みの中核として頼まれる芝居小屋。吹き掛けの客席や回り舞台装置などを備え, 二階はコ字形に棧敷席と擬宝珠(ぎぼし)高欄(こうらん)を廻らす。現在は市が取得し, 公開施設として活用。		大正14年, 昭和21年増築, 平成6年改修
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅主屋	さなだけじゅうたくおもや	1棟	三原市東町一丁目	令3.2.4	木造2階建一部平屋建, 瓦葺一部銅板葺	建築面積250㎡			大正前期/昭和38年・平成14年改修
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅奥座敷	さなだけじゅうたくおくざしき	1棟	三原市東町一丁目	令3.2.4	木造平屋建, 瓦葺一部銅板葺	建築面積171㎡			昭和3年/昭和38年増築
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅客間	さなだけじゅうたくきゃくま	1棟	三原市東町一丁目	令3.2.4	木造2階建一部平屋建, 瓦葺一部銅板葺	建築面積109㎡			昭和3年
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅茶室	さなだけじゅうたくちゃしつ	1棟	三原市東町一丁目	令3.2.4	木造平屋建, 瓦葺一部銅板葺	建築面積36㎡	眞田家は代々商家で近代以降は量販売業や薬種商売を営んだ。主屋は二階建て切妻造りて入母屋造り玄関を付す。敷地には, 和様折衷の客間や, 茶室など上質な接客空間を配し, 山陽道に面して土蔵や表門を並べる。		昭和3年
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅土蔵	さなだけじゅうたくどぞう	1棟	三原市東町一丁目	令3.2.4	土蔵造2階建及び煉瓦造3階建, 瓦葺, 建築面積36㎡	建築面積36㎡			大正前期/昭和3年増築
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅表門	さなだけじゅうたくおももん	1棟	三原市東町一丁目	令3.2.4	木造, 銅板葺	間口2.4m			昭和3年/平成14年移築

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考	
国	登録有形文化財(建造物)	酔心山根本店事務所	すいしんやまねほんでんじむしょ	1棟	三原市東町一丁目	令3.2.4	木造2階建, 瓦葺	建築面積266㎡	事務所は酒造業を営む長大な間口持つ町家で二階建て切妻造り本瓦葺き。一階に格子を建て二階に虫籠窓を開け、黒漆喰塗りで重厚に仕上げる。西側に建つ土蔵とともに旧山陽道沿いの景観を形成する。		明治35年/昭和5年増築・平成18年移築	
国	登録有形文化財(建造物)	酔心山根本店土蔵	すいしんやまねほんでんぞう	1棟	三原市東町一丁目	令3.2.4	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積53㎡			昭和5年/平成18年移築	
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅主屋	おおたけじゅうたくおもや	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	木造2階建, 瓦葺	建築面積201㎡	旧西国街道に面する大規模町家。主屋は二階建て入母屋造り赤色棧瓦葺きで正面に下屋を通し、中央を平格子、西を出格子とし、二階は黒タイル貼りの重厚な外観とする。敷地北端の離れの座敷は床の左右に床頭と書院を造り、良材を用いて端正な意匠でまとめる。主屋と離れの間に建つ茶室は六畳と四畳半茶室からなり、数寄屋意匠をえる。敷地東に建つ土蔵、北土蔵はいずれも二階建て切妻造り檜瓦葺き。薬医門形式の門及び左右塙は、主屋とともに町並みに良好な景観を形成する。		明治38年頃/昭和4年改修	
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅茶室棟	おおたけじゅうたくちゃしつどう	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	木造平屋建, 瓦葺	建築面積71㎡			昭和前期	
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅離れ	おおたけじゅうたくはなれ	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	木造平屋建, 瓦葺	建築面積95㎡			昭和前期	
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅南土蔵	おおたけじゅうたくみなみぞう	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積26㎡			昭和前期	
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅北土蔵	おおたけじゅうたくきたぞう	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	土蔵造2階建, 瓦葺	建築面積24㎡			明治後期/昭和前期移築	
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅門及び塙	おおたけじゅうたくもんおよびへい	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	門: 木造, 瓦葺, 間口1.8m 塙: 木造, 瓦葺, 延長33m	門: 間口1.8m 塙: 延長33m			昭和前期	
国	登録有形文化財(建造物)	岡田家住宅主屋	おかだけじゅうたくおもや	1棟	東広島市西条本町	令3.2.4	木造2階建, 瓦葺	建築面積212㎡		市中心部にある酒問屋を営む商家。主屋は入母屋造り妻入りで黒タイル貼りの二階は両端に袖卯建(そ		昭和前期

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	岡田家住宅土蔵	おかだけじゅうたくどぞう	1棟	東広島市西条本町	令3.2.4	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積37㎡	でうだつ)を掲げる。南側に建つ漆喰塗りの土蔵とともに旧西面街道の歴史的景観を形成する。		昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	大藤家住宅主屋	おおとうけいじゅうたくおもや	1棟	東広島市高屋町白市	令4.2.17			白市中心部に建つ旧漆塗業の店舗兼住宅。二階建入母屋造妻入椽瓦葺(いりもやぶりつまいりさんがわらぶき)で、東正面を出だし桁造(けたづくり)、北側面軒廻(のきまわり)を漆喰(しっくい)塗込とする。正面にガラス引違戸と格子を構え、内部は南にガラス窓を多用した開放的な通り土間、北にこせ等四室並べる。昭和初期の白市の繁栄を示す。		昭和4年頃/昭和50年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	保手濱家住宅主屋	ほてはまけいじゅうたくおもや	1棟	東広島市高屋町白市	令4.2.17			白市中心部に西面して建つ町家。つし二階建、切妻造(きりづまづつ)平入椽瓦葺(ひらいりさんがわらぶき)。正面に一期半の下屋(げや)を基下す。二階つし部分は奥行二間、中央に玄関を構えて廊下を通し、南北各三室を並べるが廊下、正面側の部屋はもと土間と伝わる。西条盆地の町家の変遷を伝える重要な遺構。		明治17年/昭和50年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	旧尾道市役所百島支所庁舎	きゅうおのみちしやくしよもしまししよちやうしや	1棟	尾道市百島町	令4.10.31	木造2階建、鉄板葺	建築面積251㎡	百島北東部にある役場庁舎。木造二階建、半切妻造で、縦長窓を基調に洋風とし、正面頂部がラ化二階の四連窓が特徴的。二階はキングポスト・トラスで大広間とし、一階カウンター付事務室が住時を伝える。現在、ゲストハウスとイベントスペースとして活用。		昭和29年/令和元年改修
国	登録有形文化財(建造物)	旧村井醫院診療棟	きゅうむらいいいんしんりやうどう	1棟	尾道市御調町市	令5.8.7	木造平屋建、椽瓦葺	建築面積89㎡			大正7年/昭和中期・平成24年改修
国	登録有形文化財(建造物)	旧村井醫院門柱	きゅうむらいいいんもんちやう	1基	尾道市御調町市	令5.8.7	石造、石欄付	間口1.9m			大正7年頃/昭和中期改修
国	登録有形文化財(建造物)	旧宮地醤油店離れ(林美美子旧居)	きゅうみやちしやうてんはなれ(はやしむみこきやうきよ)	1棟	尾道市土堂一丁目	令5.8.7	木造二階建、鉄板葺	建築面積12㎡			明治中期/昭和51年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	林家住宅主屋	はやしけいじゅうたくおもや	1棟	福山市鞆町鞆	令6.3.6	木造二階建、瓦葺	建築面積215㎡			明治中期
国	登録有形文化財(建造物)	明覚寺本堂	みょうかくじほんどう	1棟	三次市吉舎町吉舎	令6.3.6	木造平屋建、瓦葺	建築面積284㎡			昭和3年/令和2年移築

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	明覚寺鐘堂	みょうかくじょうどう	1棟	三次市吉舎町吉舎	令6.3.6	木造、瓦葺	建築面積6.8㎡	石見鎮山街道の吉舎(きき)宿にある真宗寺院。東面して建つ本堂の東南に鐘樓、山門を配する。本堂は東京の両国にあった松井角平事務所設計の慈光院本堂を移築したもの。七間堂で外陣は土間をコの字に廻らした斬新な平面とする良質な近代和風の本堂。鐘堂は基壇上に建つ一間四方入母屋造り。三斗を組み、中備は蓋股、軒は一軒築垂木。山門は四脚門。冠木の上方に前後の控柱を繋ぐ頭貫を通した特異な形式。通りに面して建ち、地域の歴史的景観をつくる。		明治25年/昭和中期改修
国	登録有形文化財(建造物)	明覚寺山門	みょうかくじさんもん	1棟	三次市吉舎町吉舎	令6.3.6	木造、瓦葺	間口2.8m			明治2年
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)旧本社事務所兼主屋	やまもとろくましん(きゅうやまもとてっこうじょ)しあげこうじょう	1棟	庄原市東城町東城	※未告示	木造二階建、瓦葺	建築面積258.678㎡	東城の新町筋に西面して建つ削岩機製造会社の旧本社事務所兼主屋。和前期築、昭和中期改修と伝わる。二階建片寄棟造瓦葺で外壁モルタル掻落仕上、腰を石貼。二階に窓を張出し、丸窓など幾何学的意匠が飾る。正面側は事務所が改修し、背面側に和室の居住部を残す。独特な外観が通りの景観を形成している。		(令和6年7月19日登録答申)
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)旧研究室棟	やまもとろくましん(きゅうやまもとてっこうじょ)しあげこうじょう	1棟	庄原市東城町東城	※未告示	木造平屋、瓦葺	建築面積130.680㎡	事務所兼主屋の裏に位置する削岩機製造会社の旧研究開発棟。昭和前期築と伝わる。切妻造平入棟瓦葺東西棟で、側面に上部半円アーチの腰長窓を明け、外壁モルタル掻落仕上。内部中央は板敷の研究室で、北と南の土間通路扱いにそれぞれ戸口と窓を開ける。削岩機製造の拠点となった洋風の研究室棟である。		(令和6年7月19日登録答申)
国	登録有形文化財(記念物)	船木氏庭園	ふなきしていえん		三原市西町	平23.2.7	庭園	1,902.45㎡	江戸時代末期から近代に清造業などの商業により財を成した川口氏の別邸で、茶室・数寄屋(すきや)建築の増改築に伴って順次造作が進んだ住宅の庭園。 建築群の北と東に広がる平場(ひらば)。その背景として敷地北辺から東半部にかけて複雑に展開する築山(つぎやま)。両者を結んで縦横に打たれた飛石(とびいし)・延段(のべだん)・石段。要所に配置された踏躰(つばい)・手水鉢(ちよずばち)・井戸・燈籠など、面積に比して景観構成・景物(けいぶつ)は多彩で変化に富む。 特に、築山は背面を2段の石垣で積み上げた高さ3mもの大規模なもので、石段付近の築山裾部には大きな雲石(いけせき)を多用して見所のある景をつくり、頂部からの展望も意図された。 建築群の北端の五畳茶室は19世紀半ばの茶人であった不二庵(ふじあん)の造作とされるほか、敷地北西隅部に建つ物見櫓の初層床面に花文(はなもん)の敷瓦による装飾が見られるなど、庭園とともに建築の随所にも特質が見られる。 この時期における三原地方の庭園文化の一端を示す事例として意義深い。		
国	登録有形文化財(記念物)	瓢箪島	ひょうたんじま		尾道市瀬戸田町 愛媛県今治市上浦町	平25.3.27		8,958平方メートル(全島17,576平方メートル)	瓢箪島は瀬戸内海に浮かぶ瓢箪の形をした無人島で、広島県尾道市の生口島(いくじま)と愛媛県今治市の大三島(おおみしま)との間に位置する。島の周囲は約700メートルあり、景観が横切る瓢箪形のくびれ部を挟んで、広島県側の最高所は標高234メートル、愛媛県側の最高所は標高352メートルである。 昔、生口島の神と大三島の神が島取りを目的として綱引きを行ったため、くびれてしまった島の形を双方の島民が心算して理解することになったという伝説が伝えられている。島の周辺海域は良質な漁場であることから、その漁業権をめぐる紛争に端を発して生まれた民話であると考えられており、多発した境界争いの証跡として、島内には明治時代の境界石も残されている。また、瓢箪形の小島を誇らしく歌い上げた舟歌も伝えられており、島の風光景観は漁師たちの間でもはやされて来たことが知られる。 瓢箪島は、昭和39年に放映が開始されたNHKのテレビ人形劇「ひょうたん島」のモデルとなったとされる島の一つとしても著名である。再現することが容易でない名勝地として意義深い。		
国	登録有形文化財(記念物)	前垣氏庭園(寿延庭)	まえがきしていえん(じゅえんてい)		東広島市西条上市町	平28.3.1	本庭、前庭、中庭		前垣氏庭園は、東広島市で酒造業を営む前垣氏の邸宅に造られた柱山水庭園であり、庭園研究者で作家でもあった重森三玲が設計を行った。作庭に当たって重森は昭和30年12月に前垣氏宅に滞在し、自ら指示をした。 庭園は本庭、前庭、中庭の三つの部分から成る。邸宅の座敷に面する本庭は、白砂敷(しらすなじき)で水面が表現され、左右からの細長い出島を主とする陸地部分には苔が貼られている。水面と陸地部分が接する汀線は入り組み、砂の白さと苔の深い緑色が対照を成す。また、建物の縁先には洲浜になぞらえた、数尺が並べられ、その水際をはらうような曲線を描く。正面中央に大きな雲石を据え、随所に立石や伏石を配置する。前庭は表門と玄関の間に造られ、三つの苔地の築山、直打の飛石を配し、その他の部分は白砂敷にしている。中庭は周囲を囲まれた坪庭で、三つの景石と飛石、番脱石を配し、それ以外の部分に白砂を敷く。 三つの庭園は位置的に独立し、それぞれの意匠も異なるが、立石を中心に白砂、苔等の材料を用いて作られた空間は、多くの柱山水庭園を築いた重森の作風がよく表れている。造園当初の姿を今日までよく伝えており、造園文化の発展に寄与した意義深い事例である。		
国	登録有形文化財(民俗文化財)	綱の鍛冶用具及び製品	とものかじくようおよびせいひん	567点	福山市鞆町 福山市鞆の浦歴史民俗資料館	令3.3.11			綱の鍛冶用具及び製品は、古来より瀬待ちの港で知られた広島県福山市鞆町において、船員などの鍛造に使われた用具とその製品である。綱の鍛冶職人の間では、近世以来の家の内労働的な徒弟制度が昭和初期まで続けられ、親父と弟子がともに鍛造したが、本件はその当時の手作業による用具を数多く収集している。鍛冶用具は、綱の主要製品であった罫や船釘などを製作するために、昭和の中頃まで使われていた用具が一式揃っている。鉄を熱処理する火床に風を送る輪、作業台の金床、鉄を挟んで打つ着や錘、仕上げ道具の錘やセサゲなど、用途ごとに大小各種が揃う。ほかにも造船の縁起や真中敷の爪なども収集されており、船員類の鍛造にとどまらない製作活動の幅広さが見える。代表的な製品は、罫と船釘である。罫は四爪罫や二爪の唐人罫などで、船釘は縫釘、通釘、包釘、貝折釘などの木造船の建造用途によって異なる大小各種が揃う。昭和の中頃までに製作された各種の製品が網羅的に収集されている。		